

平成28年度 垂水市市民満足度調査 結果報告書

平成28年 9月
垂水市

はじめに

平成26年度に引き続き、平成28年度垂水市市民満足度調査を行いましたところ、多くの皆様のご協力を頂き、結果報告書を取りまとめることができました。

調査にご協力いただきました皆様、誠にありがとうございました。

さて、本市では、平成20年度に10年間のまちづくりの指針となる「第4次垂水市総合計画」を策定しました。平成25年度からは後期基本計画に沿って、市民の幸せとまちの将来像「水清く やさしさわき出る温泉の町 垂水」の実現に向けてまちづくりに取り組んでおります。

この「市民満足度調査」もそういった視点から、第4次垂水市総合計画に定められた27の政策と1の重点プロジェクトの「重要度」と「満足度」を皆様にお聞きし、全体として市民ニーズがどこにあるかを見極めるために行ったものです。

今回の調査結果により、限られた財源を更に効果的かつ効率的に配分するために、また、各政策及び重点プロジェクトの取組みがより充実し、市民の皆様の満足度が向上するよう活用に努めていきたいと考えております。

今後とも市政運営に対しまして、ご意見ご要望をいただければ幸いに存じます。

垂水市長 尾脇 雅弥

目 次

I 調査の概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査の設計	1
3. 調査の内容	2
4. 調査結果の公表	2
II 調査結果	3
1. 回答者の属性分析	3
2. 政策別分析結果	5
■政策別一覧表	6
■基本構想「施策の大綱」別分析結果	7
■平成 26 年度及び平成 28 年度垂水市市民満足度調査との比較分析	8
■政策別個表	
(1) 共生・協働による地域づくりの推進	10
(2) 市民の多様な交流と連携の促進	11
(3) 地域を支える人材の育成	12
(4) 子育て支援体制の充実	13
(5) 学校教育の充実	14
(6) 学びあう社会の構築	15
(7) 地域文化の促進・保護・活用	16
(8) 地域保健の充実	17
(9) 高齢者保健福祉の推進	18
(10) 障害者保健福祉の推進	19
(11) 医療体制の充実	20
(12) 地域防災対策の推進	21
(13) 安心安全な地域社会の構築	22
(14) 快適な都市基盤の整備	23
(15) 循環型社会の構築	24
(16) 環境の保全	25
(17) 地域資源の活用	26
(18) 魅力ある農林業の振興	27
(19) 魅力ある水産業の振興	28
(20) 活気ある商工業の振興	29
(21) 働く環境の充実	30
(22) 魅力ある観光の振興	31
(23) 市民参画による行政経営	32
(24) 市民の目線による行政経営	33
(25) 市民の期待に応える職員の育成	34
(26) 行政改革の推進	35
(27) 財政運営の健全化	36
(28) 重点プロジェクト「人口減少対策プロジェクト」	37
3. 今後の居住志向	38
4. 平成 28 年度市民満足度調査総括	41

I 調査の概要

1. 調査の目的

本調査は、市内に在住する18歳以上の市民を対象として、第4次垂水市総合計画後期基本計画に基づく27の政策と1の重点プロジェクトについて、「重要度」及び「満足度」を調査し、現在の市民ニーズがどこにあるのかを見極め、今後の市政展開の参考にし、市民主役の行政を実践するための資料とする。

また、今回の調査結果を有意義なものとするため、限られた財源をいかに効果的かつ効率的に資源配分するかなど、各種計画や予算等に反映し、行政サービスに対する市民の満足度が向上するよう努めるものとする。

2. 調査の設計

本調査の設計は以下のとおりとする。

① 調査地域	市内全域
② 調査対象	市内在住の18歳以上の市民
③ 対象者数	1,000 人
④ 抽出方法	割当法（クォーター法） ※振興会ごとに性別・年齢を考慮して調査人数を設定し、対象者の人選は振興会長に一任して行う方法。
⑤ 調査方法	・無記名調査 ・政策の5段階評価及び自由記述で構成
⑥ 調査期間	平成28年7月16日（土）～7月31日（日） ※ただし、実績としては、8月8日の回収分までをデータ処理の対象とした。

3. 調査の内容

(1) 調査の対象

- ①第4次垂水市総合計画後期基本計画に掲げた27の政策及び1の重点プロジェクトに対する「重要度」及び「満足度」
- ②今後の居住志向（今後も垂水市に住み続けたいと思うか）
- ③各政策及び市政全般に対する自由意見

(2) 回答の方法

上記①、②は、それぞれ5段階評価とした。また、上記③については、自由記述とした。

(3) 分析の方法

①回答者の属性分析

回答者の属性について、その割合等を集計する。

②政策別分析

政策別に重要度、満足度、ニーズ値（重要度－満足度の数値）の平均値及びその標準偏差を算出し、全政策との相対的な評価を行う。また、回答者属性ごとにクロス集計を行い、属性項目単位の相対順位等を算出する。

また、自由意見は、政策番号を指定して記入された意見の種別やキーワード等を分類し、その傾向を分析する。

これらの分析結果をもとに考察を行い、最終的に評価結果としてまとめる。

③平成26年度及び平成28年度垂水市市民満足度調査の比較分析

平成26年度垂水市市民満足度調査及び平成28年度垂水市市民満足度調査の政策別の重要度、満足度、ニーズ値の差及び順位の変動を算出する。また相対評価及び評価エリアの変動を比較する。

④第4次垂水市総合計画基本構想「施策の大綱」別分析

同基本構想「施策の大綱」に掲げた「基本目標」及び「重点目標」別に重要度、満足度、ニーズ値の平均値、標準偏差及び相対順位等を算出する。

⑤今後の居住志向に対する分析

回答状況及び属性ごとの集計結果を分析し、また、自由意見を整理するなどして、評価・分析まとめを行う。

⑥平成28年度垂水市市民満足度調査の総括

市民満足度調査結果から見える総括として整理する。なお、従来どおり、前回調査時点における重点政策に対する検証も行う。

⑦各政策及び市政全般に関する自由意見

記入された意見については、今後の市政運営に対して貴重な意見であることから、意見の原文を、別途「平成26年度市民満足度調査結果報告書 資料集」としてまとめる。

4. 調査結果の公表

調査の結果については、本報告書を市役所情報公開室及びホームページにおいて公開する。

II 調査結果

1. 回答者の属性分析

(1) 調査方法

今回の市民満足度調査は、平成26年度市民満足度調査と同様に、対象者数を1,000人とし、対象者の抽出法は「割当法」を採用した。

なお、調査票の配布及び回収については、各振興会長の協力をいただいた。

(2) 回収数／回収率

今回の回収数（回収率）は、892件（89.2%）となり、平成26年度調査時の903件（90.3%）から11件（1.1%）低下した。

(3) 各区分の属性分析結果について

①男女別：概ね当初の設定割合どおりとなっている。

区分	配布数（割合）	回答者数（割合）
男	472（47.2%）	391（43.8%）
女	528（52.8%）	471（52.8%）
未記入等	-	30（3.4%）
合計	1,000（100%）	892（100%）

②年齢別：当初設定割合に比べ、若年層と高年層の割合が低くなっている。

区分	配布数（割合）	回答者数（割合）
若年層／18～39歳	170（17.0%）	133（14.9%）
壮年層／40～59歳	287（28.7%）	277（31.1%）
高年層／60歳以上	543（54.3%）	454（50.9%）
未記入等	-	28（3.1%）
合計	1,000（100%）	892（100%）

③職業別：会社員、パート・アルバイトの割合が高く、学生の割合が低くなっている。

区分	配布数（割合）	回答者数（割合）
会社員	-	210（23.5%）
自営業	-	97（10.9%）
公務員	-	20（2.2%）
農林水産業	-	42（4.7%）
パート・アルバイト	-	133（14.9%）
専業主婦（主夫）	-	118（13.2%）
学生	-	6（0.7%）
無職	-	212（23.8%）
その他	-	22（2.5%）
未記入等	-	32（3.6%）
合計	1,000（100%）	892（100%）

④地区別：概ね当初の設定割合どおりとなっている。

区分	配布数 (割合)	回答者数 (割合)
新城・柘原地区	162 (16.2%)	148 (16.6%)
垂水地区	496 (49.6%)	410 (46.0%)
水之上・大野地区	107 (10.7%)	100 (11.2%)
協和地区	117 (11.7%)	104 (11.7%)
牛根地区全域	118 (11.8%)	103 (11.5%)
未記入等	-	27 (3.0%)
合計	1,000 (100%)	892 (100%)

⑤居住年数別：居住年数が10年以上の回答者が約87%を占めている。

区分	配布数 (割合)	回答者数 (割合)
5年未満	-	40 (4.5%)
5～10年	-	49 (5.5%)
10～20年	-	98 (11.0%)
20年以上	-	676 (75.8%)
未記入等	-	29 (3.2%)
合計	1,000 (100%)	892 (100%)

2. 政策別分析結果

第4次垂水市総合計画後期基本計画に掲げている27の政策及び1の重点プロジェクトについて、政策別に重要度、満足度の平均値及び標準偏差を算出した。

なお、この2つの数値だけでは、市民ニーズが詳細に把握できないことから、平成26年度に引き続きニーズ値として、重要度と満足度の差を設定した。これは、この差が大きいほど、重要度と満足度とのかい離があり、早急な改善や対策等を図る必要性を示したものとしている。

相対評価は、それぞれの政策の重要度と満足度の平均値と全ての重要度と満足度の全体平均値との比較である。

この相対評価の評価指標の説明は次のとおりである。

- ◎Ⅰ：重要度・満足度とも平均値より高い項目
- ◎Ⅱ：重要度は平均値より高いが、満足度の平均値が低い項目
- ◎Ⅲ：重要度の平均値は低い、満足度の平均値は高い項目
- ◎Ⅳ：重要度・満足度とも平均値より低い項目

また、評価エリアは、分析結果表内のプロット図にあるように4つのエリアに分け、当該政策の重要度とニーズ値の相関関係を示した。

この4つのエリアの説明は次のとおりである。

- ◎Aエリア：重要度もニーズも高い / 優先して改善を要する項目
- ◎Bエリア：ニーズ値は高いが重要度は低い / 現状維持またはあり方を検討する項目
- ◎Cエリア：重要度は高いがニーズは低い / 現在の水準を維持する項目
- ◎Dエリア：重要度もニーズも低い / 改善の必要性が低い項目

ニーズ分析は、項目単位・属性単位の相対順位を求めている。

項目単位の数字は、同じカテゴリ内（男女別、年齢別等）におけるニーズ値の順位を表している。

また、属性単位の数字は、その属性内において、当該政策のニーズ値が全政策で何位であるかを示したものである。

これらのデータをもとに考察したデータの傾向を特記事項にまとめている。

自由意見については、政策番号を指定して記入された意見を意見の種別で分類し、また、内容をキーワードに置き換え、その傾向を記した。（なお、意見の詳細は、「資料集」を参照のこと）

評価結果については、これまでの分析結果をもとに今後取り組む政策推進の方向性について、まとめたものである。

標準偏差について

標準偏差は、統計値や確率変数の散らばり具合（ばらつき）を表す数値のひとつ。

例えば、3人の回答が全て同じ回答（全員が3と回答した場合）の平均値は3.0で、標準偏差はばらつきがないので0となるが、3人の回答がそれぞれ「1/3/5」の場合、平均値は同じく3.0であるが、標準偏差は1.63となる。

■政策別一覧表／重要度・満足度・ニーズ値／平均値・標準偏差・相対順位・相対評価・評価エリア

NO.	政策名	重要度				満足度				相対評価	ニーズ値		評価エリア
		平均値	平均値－全体平均	相対順位	標準偏差	平均値	平均値－全体平均	相対順位	標準偏差		平均値	相対順位	
1	共生・協働による地域づくりの推進	4.035	-0.222	22/28	0.80	3.011	-0.036	18/28	0.75	Ⅳ	1.024	21/28	D
2	市民の多様な交流と連携の促進	4.010	-0.247	24/28	0.79	3.055	0.008	13/28	0.74	Ⅲ	0.955	24/28	D
3	地域を支える人材の育成	4.255	-0.001	15/28	0.76	3.055	0.008	14/28	0.74	Ⅲ	1.201	13/28	D
4	子育て支援体制の充実	4.516	0.259	4/28	0.69	3.161	0.114	8/28	0.80	I	1.355	7/28	A
5	学校教育の充実	4.495	0.238	6/28	0.70	3.292	0.245	2/28	0.81	I	1.203	12/28	C
6	学びあう社会の構築	3.983	-0.274	26/28	0.81	3.155	0.108	10/28	0.76	Ⅲ	0.827	27/28	D
7	地域文化の促進・保護・活用	4.032	-0.225	23/28	0.81	3.238	0.191	5/28	0.74	Ⅲ	0.794	28/28	D
8	地域保健の充実	4.434	0.177	8/28	0.70	3.403	0.356	1/28	0.83	I	1.031	20/28	C
9	高齢者保健福祉の推進	4.523	0.266	3/28	0.68	3.122	0.075	11/28	0.85	I	1.401	5/28	A
10	障害者保健福祉の推進	4.367	0.110	10/28	0.74	3.038	-0.009	15/28	0.71	Ⅱ	1.329	9/28	A
11	医療体制の充実	4.684	0.427	1/28	0.60	2.788	-0.259	25/28	1.00	Ⅱ	1.896	1/28	A
12	地域防災対策の推進	4.611	0.354	2/28	0.64	3.265	0.218	4/28	0.87	I	1.346	8/28	A
13	安心安全な地域社会の構築	4.405	0.148	9/28	0.71	3.274	0.227	3/28	0.74	I	1.130	16/28	C
14	快適な都市基盤の整備	4.275	0.018	13/28	0.76	2.883	-0.164	24/28	0.82	Ⅱ	1.392	6/28	A
15	循環型社会の構築	4.276	0.019	12/28	0.75	3.230	0.183	6/28	0.80	I	1.046	19/28	C
16	環境の保全	4.290	0.033	11/28	0.75	3.113	0.066	12/28	0.77	I	1.177	14/28	C
17	地域資源の活用	4.159	-0.098	19/28	0.77	3.156	0.109	9/28	0.70	Ⅲ	1.003	22/28	D
18	魅力ある農林業の振興	4.100	-0.157	20/28	0.81	2.963	-0.084	21/28	0.70	Ⅳ	1.137	15/28	D
19	魅力ある水産業の振興	4.093	-0.163	21/28	0.82	3.218	0.171	7/28	0.68	Ⅲ	0.875	25/28	D
20	活気ある商工業の振興	4.162	-0.095	18/28	0.78	3.036	-0.011	16/28	0.78	Ⅳ	1.126	17/28	D
21	働く環境の充実	4.484	0.227	7/28	0.72	2.598	-0.449	28/28	0.83	Ⅱ	1.887	2/28	A
22	魅力ある観光の振興	4.210	-0.047	17/28	0.78	2.973	-0.074	20/28	0.80	Ⅳ	1.236	11/28	B
23	市民参画による行政経営	3.794	-0.463	28/28	0.85	2.924	-0.123	22/28	0.63	Ⅳ	0.870	26/28	D
24	市民の目線による行政経営	3.988	-0.268	25/28	0.87	3.028	-0.019	17/28	0.77	Ⅳ	0.961	23/28	D
25	市民の期待に応える職員の育成	4.268	0.011	14/28	0.84	2.772	-0.275	26/28	0.92	Ⅱ	1.496	4/28	A
26	行政改革の推進	3.975	-0.282	27/28	0.86	2.896	-0.151	23/28	0.70	Ⅳ	1.079	18/28	D
27	財政運営の健全化	4.253	-0.004	16/28	0.83	2.987	-0.060	19/28	0.77	Ⅳ	1.266	10/28	B
28	人口減少対策プロジェクト	4.515	0.258	5/28	0.73	2.683	-0.364	27/28	0.82	Ⅱ	1.832	3/28	A
	全体平均	4.257		-		3.047		-		-	1.210	-	-

■基本構想「施策の大綱」別分析結果

NO.	基本目標・ 重点目標	重要度			満足度			相対 評価	ニーズ値		評価 エリア
		平均値	平均値－ 全体平均	相対 順位	平均値	平均値－ 全体平均	相対 順位		平均値	相対 順位	
	全回答（全体平均）	4.257			3.047				1.210		
◎基本目標別											
1	住民による住民のためのまちをつくる	4.190	-0.067	4/5	3.138	0.091	1/5	Ⅲ	1.051	5/5	D
2	安心して暮らせるまちをつくる	4.471	0.214	2/5	3.110	0.063	2/5	I	1.361	2/5	A
3	環境と経済が共存し、循環していくまちをつくる	4.222	-0.035	3/5	3.036	-0.011	3/5	Ⅳ	1.186	3/5	D
4	市民を大切にすまちをつくる	4.056	-0.201	5/5	2.921	-0.126	4/5	Ⅳ	1.134	4/5	D
重点	人口減少対策プロジェクト	4.515	0.258	1/5	2.683	-0.364	5/5	Ⅱ	1.832	1/5	A
●重点目標別											
1-1	自立した地域をつくるために	4.100	-0.157	7/8	3.041	-0.006	5/8	Ⅳ	1.060	7/8	D
1-2	学びあえる地域をつくるために	4.257	0.000	3/8	3.212	0.165	1/8	Ⅲ	1.045	8/8	D
2-1	生きがいを持ち、健康に暮らすために	4.502	0.245	1/8	3.088	0.041	4/8	I	1.414	1/8	A
2-2	暮らしの安全を守るために	4.430	0.173	2/8	3.141	0.094	3/8	I	1.289	2/8	A
3-1	自然と共生していくために	4.242	-0.015	4/8	3.166	0.119	2/8	Ⅲ	1.076	6/8	D
3-2	経済が持続発展していくために	4.210	-0.047	5/8	2.958	-0.089	6/8	Ⅳ	1.252	3/8	B
4-1	市民から信頼される行政経営のために	4.017	-0.240	8/8	2.908	-0.139	8/8	Ⅳ	1.109	5/8	D
4-2	無駄のない行政経営のために	4.114	-0.143	6/8	2.942	-0.105	7/8	Ⅳ	1.173	4/8	D

凡例

◎相対評価

- I : 重要度・満足度とも平均値より高い項目
- II : 重要度は平均値より高いが、満足度の平均値が低い項目
- III : 重要度の平均値は低いが、満足度の平均値は高い項目
- IV : 重要度・満足度とも平均値より低い項目

◎評価エリア

- A : 重要度もニーズも高い / 優先して改善を要する項目
- B : ニーズ値は高いが重要度は低い / 現状維持またはあり方を検討する項目
- C : 重要度は高いがニーズは低い / 現在の水準を維持する項目
- D : 重要度もニーズも低い / 改善の必要性が低い項目

■平成26年度及び平成28年度垂水市市民満足度調査結果の比較分析

NO.	政策名		重要度		満足度		ニーズ値		相対評価	評価 エリア	比較 (前回調査以降の成果)
			平均値	相対 順位	平均値	相対 順位	平均値	相対 順位			
1	共生・協働による 地域づくりの推進	H28	4.035	22	3.011	18	1.024	21	IV	D	重要度の数値は上がっている が、満足度の低下が見られるこ とから、成果が見られない。
		H26	4.022	23	3.119	13	0.903	23	III	D	
		差	0.013	↑1	-0.108	↓5	0.121	↑2	-	-	
2	市民の多様な交流 と連携の促進	H28	4.010	24	3.055	13	0.955	24	III	D	ニーズ値は低く、特に大きな変 化は見られない。
		H26	4.040	22	3.103	14	0.937	21	III	D	
		差	-0.030	↓2	-0.048	↑1	0.018	↓3	-	-	
3	地域を支える人材 の育成	H28	4.255	15	3.055	14	1.201	13	III	D	重要度の数値が上がり、満足度 の相対順位が上がったので、一 定の成果が見られる。
		H26	4.167	16	3.025	19	1.142	13	IV	B	
		差	0.088	↑1	0.030	↑5	0.059	0	-	-	
4	子育て支援体制の 充実	H28	4.516	4	3.161	8	1.355	7	I	A	重要度、満足度共に、上がって おり、ニーズ値も高い。なお、 満足度が上がっていることか ら、成果が見られる。
		H26	4.396	8	3.121	12	1.275	6	I	A	
		差	0.120	↑4	0.040	↑4	0.080	↓1	-	-	
5	学校教育の充実	H28	4.495	6	3.292	2	1.203	12	I	C	重要度の相対順位は下がった が、依然重要度は高い。なお、 満足度は上がっており、成果が 見られる。
		H26	4.485	4	3.279	4	1.206	9	I	A	
		差	0.010	↓2	0.013	↑2	-0.003	↓3	-	-	
6	学びあう社会の構 築	H28	3.983	26	3.155	10	0.827	27	III	D	重要度、ニーズ値は低い、満 足度は高い相対順位を維持して おり、一定の成果が見られる。
		H26	4.002	24	3.213	9	0.790	27	III	D	
		差	-0.019	↓2	-0.058	↓1	0.037	0	-	-	
7	地域文化の促進・ 保護・活用	H28	4.032	23	3.238	5	0.794	28	III	D	重要度の相対順位は低い、満 足度が上がっており、一定の成 果が見られる。
		H26	3.968	26	3.216	8	0.752	28	III	D	
		差	0.064	↑3	0.022	↑3	0.042	0	-	-	
8	地域保健の充実	H28	4.434	8	3.403	1	1.031	20	I	C	満足度の相対順位は前回に引き 続き1位であることから、一定 の成果が見られる。
		H26	4.393	9	3.497	1	0.896	24	I	C	
		差	0.041	↑1	-0.094	0	0.135	↑4	-	-	
9	高齢者保健福祉の 推進	H28	4.523	3	3.122	11	1.401	5	I	A	重要度は高くなっているが、満 足度が大幅に低下しており、成 果が見られない。
		H26	4.458	6	3.306	3	1.152	11	I	A	
		差	0.065	↑3	-0.184	↓8	0.249	↑6	-	-	
10	障害者保健福祉の 推進	H28	4.367	10	3.038	15	1.329	9	II	A	重要度、ニーズ値の数値は上 がっているが、満足度に変化が ないことから、成果が見られな い。
		H26	4.312	10	3.068	17	1.244	8	II	A	
		差	0.055	0	-0.030	↑2	0.085	↓1	-	-	
11	医療体制の充実	H28	4.684	1	2.788	25	1.896	1	II	A	重要度の相対順位は前回に引き 続き1位であるが、満足度は大 幅に低下しており、成果が見ら れない。
		H26	4.638	1	3.090	15	1.548	3	II	A	
		差	0.046	0	-0.302	↓10	0.348	↑2	-	-	
12	地域防災対策の推 進	H28	4.611	2	3.265	4	1.346	8	I	A	重要度、ニーズ値の相対順位は 高いが、満足度も向上しており 、一定の成果が見られる。
		H26	4.522	2	3.258	5	1.264	7	I	A	
		差	0.089	0	0.007	↑1	0.082	↓1	-	-	
13	安心安全な地域社 会の構築	H28	4.405	9	3.274	3	1.130	16	I	C	満足度の数値、相対順位が上 がっており、一定の成果が見ら れる。
		H26	4.440	7	3.255	6	1.185	10	I	A	
		差	-0.035	↓2	0.019	↑3	-0.055	↓6	-	-	
14	快適な都市基盤の 整備	H28	4.275	13	2.883	24	1.392	6	II	A	重要度は高くなっているが、満 足度が大幅に低下しており、成 果が見られない。
		H26	4.154	17	3.039	18	1.115	15	IV	D	
		差	0.121	↑4	-0.156	↓6	0.277	↑9	-	-	
15	循環型社会の構築	H28	4.276	12	3.230	6	1.046	19	I	C	重要度が高まっているが、満足 度が低下しており、成果が見ら れない。
		H26	4.245	14	3.367	2	0.878	25	I	C	
		差	0.031	↑2	-0.137	↓4	0.168	↑6	-	-	
16	環境の保全	H28	4.290	11	3.113	12	1.177	14	I	C	重要度、満足度共に、前回同様 の水準であり、大きな変化は見 られない。
		H26	4.247	13	3.177	10	1.071	16	I	C	
		差	0.043	↑2	-0.064	↓2	0.106	↑2	-	-	

NO.	政策名		重要度		満足度		ニーズ値		相対評価	評価 エリア	比較 (前回調査以降の成果)
			平均値	相対 順位	平均値	相対 順位	平均値	相対 順位			
17	地域資源の活用	H28	4.159	19	3.156	9	1.003	22	Ⅲ	D	ニーズ値は低く、特に大きな変化は見られない。
		H26	4.140	19	3.176	11	0.964	20	Ⅲ	D	
		差	0.019	0	-0.020	↑2	0.039	↓2	-	-	
18	魅力ある農林業の振興	H28	4.100	20	2.963	21	1.137	15	Ⅳ	D	重要度、満足度共に、前回同様の水準であり、特に大きな変化は見られない。
		H26	4.063	21	3.003	21	1.060	17	Ⅳ	D	
		差	0.037	↑1	-0.040	0	0.077	↑2	-	-	
19	魅力ある水産業の振興	H28	4.093	21	3.218	7	0.875	25	Ⅲ	D	重要度、満足度共に、前回同様の水準であり、特に大きな変化は見られない。
		H26	4.143	18	3.236	7	0.907	22	Ⅲ	D	
		差	-0.050	↓3	-0.018	0	-0.032	↓3	-	-	
20	活気ある商工業の振興	H28	4.162	18	3.036	16	1.126	17	Ⅳ	D	満足度が上がり、ニーズ値が低下しており、一定の成果が見られる。
		H26	4.133	20	2.984	22	1.150	12	Ⅳ	B	
		差	0.029	↑2	0.052	↑6	-0.024	↓5	-	-	
21	働く環境の充実	H28	4.484	7	2.598	28	1.887	2	Ⅱ	A	重要度は依然高いが、満足度は全政策で最も相対順位が低く、成果が見られない。
		H26	4.465	5	2.603	28	1.862	1	Ⅱ	A	
		差	0.019	↓2	-0.005	0	0.025	↓1	-	-	
22	魅力ある観光の振興	H28	4.210	17	2.973	20	1.236	11	Ⅳ	B	重要度、満足度共に、前回同様の水準であり、特に大きな変化は見られない。
		H26	4.211	15	3.073	16	1.138	14	Ⅳ	B	
		差	-0.001	↓2	-0.100	↓4	0.098	↑3	-	-	
23	市民参画による行政経営	H28	3.794	28	2.924	22	0.870	26	Ⅳ	D	ニーズ値は低く、特に大きな変化は見られない。
		H26	3.767	28	2.942	25	0.825	26	Ⅳ	D	
		差	0.027	0	-0.018	↑3	0.045	0	-	-	
24	市民の目線による行政経営	H28	3.988	25	3.028	17	0.961	23	Ⅳ	D	満足度の相対順位が上がり、ニーズ値も改善されており、一定の成果が見られる。
		H26	3.988	25	3.020	20	0.969	19	Ⅳ	D	
		差	0.000	0	0.008	↑3	-0.008	↓4	-	-	
25	市民の期待に応える職員の育成	H28	4.268	14	2.772	26	1.496	4	Ⅱ	A	満足度が低く、ニーズ値が高いため、成果が見られない。
		H26	4.249	12	2.857	26	1.391	4	Ⅱ	A	
		差	0.019	↓2	-0.085	0	0.105	0	-	-	
26	行政改革の推進	H28	3.975	27	2.896	23	1.079	18	Ⅳ	D	重要度、満足度共に、前回同様の水準であり、大きな変化は見られない。
		H26	3.966	27	2.975	24	0.991	18	Ⅳ	D	
		差	0.009	0	-0.079	↑1	0.088	0	-	-	
27	財政運営の健全化	H28	4.253	16	2.987	19	1.266	10	Ⅳ	B	満足度が上がっており、一定の成果が見られる。
		H26	4.256	11	2.978	23	1.278	5	Ⅱ	A	
		差	-0.003	↓5	0.009	↑4	-0.012	↓5	-	-	
重点	人口減少対策プロジェクト	H28	4.515	5	2.683	27	1.832	3	Ⅱ	A	重要度は高いが、満足度は低下しており、成果が見られない。
		H26	4.512	3	2.720	27	1.793	2	Ⅱ	A	
		差	0.003	↓2	-0.037	0	0.039	↓1	-	-	
	前回比較（平均） ※H26分は重点プロジェクトを含まない平均値。	H28	4.247	-	3.061	-	1.187	-	-	-	/
		H26	4.217	-	3.110	-	1.107	-	-	-	
		差	0.030	-	-0.049	-	0.080	-	-	-	
全体平均	H28	4.257	-	3.047	-	1.210	-	-	-		
	H26	4.228	-	3.096	-	1.132	-	-	-		
	差	0.029	-	-0.049	-	0.078	-	-	-		

■政策別分析結果

1. 共生・協働による地域づくりの推進

【政策の概要】

目標の考え方	共生・協働の社会を実現するために、全ての市民が手を取り合い、いきいきと暮らせる仕組みをつくり、地域住民の手により目指すべき地域の将来像を考える必要があります。個人と地域と行政とのそれぞれの役割を自覚しながら、地域住民による主体的な地域活動が行えるような取り組みを進めます。	
目指すイメージ	<ul style="list-style-type: none"> ●市民の人権問題に対する意識が深まっています ●女性も男性も暮らしやすい社会になっています ●地域や団体、行政、議会の役割が明確になっています ●地域住民と行政とが課題を共有し、協働して取り組んでいます 	
施策の方向	<ul style="list-style-type: none"> ●人権教育・啓発活動の推進 ●協働社会の仕組みづくり 	<ul style="list-style-type: none"> ●男女共同参画社会の形成 ●地域活動支援

【分析結果】

	平均値	標準偏差	相対順位	備考
重要度	4.035	0.80	22/28	全体平均値： 4.257
満足度	3.011	0.75	18/28	全体平均値： 3.047
ニーズ値	1.024	—	21/28	全体平均値： 1.210 ※ニーズ値=重要度-満足度
相対評価	IV	重要度・満足度とも低い項目		評価エリア D 改善の必要性が低い項目
ニーズ分析	項目単位	属性単位	凡例／【項目単位】数字は項目内での順位 【属性単位】数字は属性内の優先政策順位 / 網掛けの数字は平均以上を示す	
男女別	男	2	23	
	女	1	18	
年齢別	若年層	1	18	
	壮年層	3	20	
	高年層	2	22	
職業別	会社員	8	23	
	自営業	6	24	
	公務員	2	11	
	農林水産業	4	24	
	パート	5	17	
	専業主婦	3	13	
	学生	1	11	
	無職	7	20	
	その他	9	20	
地区別	新城・柘原地区	3	23	
	垂水地区	1	18	
	水之上・大野地区	5	22	
	協和地区	4	24	
	牛根地区全域	2	19	
居住年数別	5年未満	2	21	
	5～10年	1	17	
	10～20年	4	18	
	20年以上	3	22	
特記事項 (ニーズ分析結果)	●公務員、専業主婦を除く各属性において、他の政策よりニーズが低い傾向にある。 ※学生は回答人数が少ない。(全ての政策で同様)			
自由意見	<ul style="list-style-type: none"> ●記入件数 16件 / うち課題 5件・要望 2件・提言 3件・評価 2件・その他 4件 ●キーワード：地域（振興会・公民館・コミュニティ）の活動 / 地域の特性 			
平成26年度実施分との比較	●重要度の数値は上がっているが、満足度の低下が見られることから、成果が見られない。			
評価結果	●改善の必要性は低い政策となっているが、本政策は市の基本理念であるため、今後さらに満足度を高められるよう工夫して取り組む必要がある。			

■政策別分析結果

2. 市民の多様な交流と連携の促進

【政策の概要】

目標の考え方	市民や各種団体、行政が持つ情報はそれぞれに価値があり、その情報がお互いで共有できれば、様々な課題の解決や地域の活性化につながることから、多様な交流と連携に対する取り組みを進めます。特に防災対策、高齢者の生活支援、生活環境の保全、子育て支援などに対して、地域や団体間の交流を深め、支えあい、連携しあう取り組みを進めます。	
目指すイメージ	<ul style="list-style-type: none"> ●地域の課題が地域内で共有され、地域で解決できる力があります ●地域内交流が進み、支えあいができています 	
施策の方向	<ul style="list-style-type: none"> ●市民参加の意識向上 ●公民館活動の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ●団体間ネットワークの充実

【分析結果】

		平均値	標準偏差	相対順位	備考	
重要度		4.010	0.79	24/28	全体平均値： 4.257	
満足度		3.055	0.74	13/28	全体平均値： 3.047	
ニーズ値		0.955	—	24/28	全体平均値： 1.210 ※ニーズ値=重要度-満足度	
相対評価	Ⅲ	重要度は低い、満足度は高い項目		評価エリア	D	改善の必要性が低い項目
ニーズ分析		項目単位	属性単位	凡例／【項目単位】数字は項目内での順位 【属性単位】数字は属性内の優先政策順位／網掛けの数字は平均以上を示す		
男女別	男	1	24			
	女	2	22			
年齢別	若年層	3	21			
	壮年層	2	22			
	高年層	1	24			
職業別	会社員	9	27			
	自営業	6	26			
	公務員	3	12			
	農林水産業	2	10			
	パート	8	22			
	専業主婦	5	20			
	学生	1	6			
	無職	7	24			
地区別	新城・柘原地区	2	24			
	垂水地区	1	22			
	水之上・大野地区	5	25			
	協和地区	3	25			
居住年数別	5年未満	2	24			
	5～10年	1	18			
	10～20年	4	28			
	20年以上	3	24			
特記事項 (ニーズ分析結果)	●公務員、農林水産業、その他を除く各属性において、他の政策よりニーズが低い傾向にある。					
自由意見	<ul style="list-style-type: none"> ●記入件数 7件／うち課題 2件・要望 2件・提言 1件・評価 0件・その他 2件 ●キーワード：ボランティア作業／高齢化・過疎化 					
平成26年度実施分との比較	●ニーズ値は低く、特に大きな変化は見られない。					
評価結果	●改善の必要性が低い政策ではあるが、満足度の数値が低下しているため、現状の取組みを継続しながら満足度を高められるよう工夫する必要がある。					

■政策別分析結果

3. 地域を支える人材の育成

【政策の概要】

目標の考え方	地域活動に気軽に参加できる環境づくりと、活動の中心となる地域活力の向上に必要な人材の発掘・育成に取り組みます。また、特色のある地域づくりのために、郷土をより深く学ぶ取り組みを進めます。
目指すイメージ	<ul style="list-style-type: none"> ●一人ひとりがふるさとの良さを知り、郷土への愛着が育まれています ●地域活動における個々の役割が発揮され、多くの市民が達成感を得ています
施策の方向	<ul style="list-style-type: none"> ●ふるさとを学ぶ学習機会の充実 ●人材の発掘、確保 ●リーダー育成

【分析結果】

		平均値	標準偏差	相対順位	備考	
重要度		4.255	0.76	15/28	全体平均値： 4.257	
満足度		3.055	0.74	14/28	全体平均値： 3.047	
ニーズ値		1.201	—	13/28	全体平均値： 1.210 ※ニーズ値=重要度-満足度	
相対評価	Ⅲ	重要度は低い、満足度は高い項目		評価エリア	D	改善の必要性が低い項目
ニーズ分析		項目単位	属性単位	凡例／【項目単位】数字は項目内での順位 【属性単位】数字は属性内の優先政策順位 / 網掛けの数字は平均以上を示す		
男女別	男	1	8			
	女	2	17			
年齢別	若年層	3	16			
	壮年層	2	13			
	高年層	1	12			
職業別	会社員	6	13			
	自営業	4	11			
	公務員	2	7			
	農林水産業	3	11			
	パート	9	18			
	専業主婦	7	15			
	学生	1	5			
	無職	5	10			
その他	8	17				
地区別	新城・柘原地区	3	11			
	垂水地区	2	13			
	水之上・大野地区	5	15			
	協和地区	4	17			
牛根地区全域	1	11				
居住年数別	5年未満	2	10			
	5～10年	1	4			
	10～20年	4	14			
	20年以上	3	14			
特記事項 (ニーズ分析結果)	●各属性においてニーズが高い傾向にあるが、特に高年層を含む無職の属性のニーズが高くなっている。また、新城・柘原地区及び牛根地区においてもニーズが高くなっている。					
自由意見	<ul style="list-style-type: none"> ●記入件数 5件 / うち課題 2件・要望 1件・提言 2件・評価 0件・その他 0件 ●キーワード：地域リーダー / 若者の人材育成 					
平成26年度実施分との比較	●重要度の数値が上がり、満足度の相対順位が上がったので、一定の成果が見られる。					
評価結果	●改善の必要性が低いことから、現状の水準を維持していく必要がある。なお、自由意見から地区毎のニーズに対応した取組みが求められている。					

■政策別分析結果

4. 子育て支援体制の充実

【政策の概要】

目標の考え方	本市の恵まれた自然や歴史・文化の中で、心身ともに健全な子どもとして育つため、そして心豊かな人間性を持った次世代の親として育つためには、子どもだけでなく、親や家族とともに育っていきける環境づくりを進めるとともに、地域の果たす役割も大きいという認識のもと、世代間交流を交えながら地域や職場など社会が一体となって子育てを支援していくよう取り組みます。	
目指すイメージ	<ul style="list-style-type: none"> ●家庭、学校、地域、職場の連携が強化され、地域全体で子育てを支援しています ●安心して子どもを産み、育てる環境になっています 	
施策の方向	<ul style="list-style-type: none"> ●子育て環境の整備、支援 ●青少年の健全育成 	<ul style="list-style-type: none"> ●母子保健の推進

【分析結果】

		平均値	標準偏差	相対順位	備考
重要度		4.516	0.69	4/28	全体平均値： 4.257
満足度		3.161	0.80	8/28	全体平均値： 3.047
ニーズ値		1.355	—	7/28	全体平均値： 1.210 ※ニーズ値=重要度-満足度
相対評価		I	重要度・満足度とも高い項目		評価エリア A 優先して改善を要する項目
ニーズ分析		項目単位	属性単位	凡例／【項目単位】数字は項目内での順位 【属性単位】数字は属性内の優先政策順位 / 網掛けの数字は平均以上を示す	
男女別	男	1	6		
	女	2	9		
年齢別	若年層	2	4		
	壮年層	1	8		
	高年層	3	9		
職業別	会社員	5	9		
	自営業	4	9		
	公務員	1	3		
	農林水産業	3	7		
	パート	8	6		
	専業主婦	9	8		
	学生	2	2		
	無職	7	7		
	その他	6	7		
地区別	新城・柘原地区	3	6		
	垂水地区	1	7		
	水之上・大野地区	5	11		
	協和地区	2	6		
居住年数別	5年未満	3	9		
	5～10年	2	6		
	10～20年	1	4		
	20年以上	4	9		
特記事項 (ニーズ分析結果)		●全ての属性でニーズが高くなっている。			
自由意見		<ul style="list-style-type: none"> ●記入件数 11件 / うち課題 1件・要望 8件・提言 2件・評価 0件・その他 0件 ●キーワード：医療費無料化 / 医療（産婦人科、小児科等） / 仕事と家庭の両立 			
平成26年度実施分との比較		●重要度、満足度共に、上がっており、ニーズ値も高い。なお、満足度が上がっていることから、成果が見られる。			
評価結果		●満足度は上がっているが、評価エリアはAであるため、更なる改善に取り組む必要がある。			

■政策別分析結果

5. 学校教育の充実

【政策の概要】

目標の考え方	自ら学び自ら考える、たくましく「生きる力」を備えた、子どもを育てるために、教職員一人一人の資質の向上を図り、特色ある開かれた学校づくりを推進します。その中で、垂水の海・山・川などの自然や歴史・文化について地域の人材を活かしながら体験を通して学習し、「ふるさと垂水を愛し、誇りにする子ども」を育成するとともに、垂水の次代を担う子どもたちが生き生きと学べる良好な教育環境の確保に取り組みます。	
目指すイメージ	<ul style="list-style-type: none"> ●子どもたちが夢を持ち、いきいきと学んでいます ●施設・設備が整備され、良好な教育環境が保たれています ●子どもたちの活動の場の共有化が図られ、健やかに成長しています 	
施策の方向	<ul style="list-style-type: none"> ●生きる力を育む質の高い教育の推進 ●教育環境整備の推進 ●垂水高校振興支援 	<ul style="list-style-type: none"> ●家庭・地域と連携した教育の推進 ●幼・保・小・中・高の各成長ステージに応じた連携の推進

【分析結果】

		平均値	標準偏差	相対順位	備考	
重要度		4.495	0.70	6/28	全体平均値： 4.257	
満足度		3.292	0.81	2/28	全体平均値： 3.047	
ニーズ値		1.203	—	12/28	全体平均値： 1.210 ※ニーズ値=重要度-満足度	
相対評価		I	重要度・満足度とも高い項目	評価エリア	C	現在の水準を維持する項目
ニーズ分析		項目単位	属性単位	凡例／【項目単位】数字は項目内での順位 【属性単位】数字は属性内の優先政策順位 / 網掛けの数字は平均以上を示す		
男女別	男	1	14			
	女	2	13			
年齢別	若年層	1	8			
	壮年層	2	10			
	高年層	3	16			
職業別	会社員	3	11			
	自営業	2	12			
	公務員	1	4			
	農林水産業	4	17			
	パート	8	16			
	専業主婦	6	12			
	学生	7	16			
	無職	9	19			
その他	5	9				
地区別	新城・柘原地区	4	19			
	垂水地区	1	12			
	水之上・大野地区	3	13			
	協和地区	2	13			
居住年数別	5年未満	1	13			
	5～10年	2	13			
	10～20年	4	13			
	20年以上	3	13			
特記事項 (ニーズ分析結果)		●子育て世代である若い年齢層ほどニーズが高い傾向になっている。				
自由意見		<ul style="list-style-type: none"> ●記入件数 18件 / うち課題 4件・要望 8件・提言 5件・評価 0件・その他 1件 ●キーワード：垂水高校振興の推進 / 教育環境の充実 / 学校・家庭・地域との連携 				
平成26年度実施分との比較		●重要度の相対順位は下がったが、依然重要度は高い。なお、満足度は上がっており、成果が見られる。				
評価結果		●満足度が上がり、評価エリアはCに改善されていることから、現在の水準を維持していく必要がある。				

■政策別分析結果

6. 学びあう社会の構築

【政策の概要】

目標の考え方	多様化・高度化する学習ニーズに対応し、市民が生涯を通じて主体的に学ぶことができる環境づくりを進めるとともに、市民の誰もが、それぞれの体力や年齢、技術、興味・目的に応じて、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことができる生涯スポーツ社会の実現など、学びあう社会づくりに取り組みます。
目指すイメージ	<ul style="list-style-type: none"> ●多くの人が学びあいの場に参加し、学びの成果を暮らしに生かしています ●子どもからお年寄りまで多くの市民が、地域でスポーツに親しみ交流の輪が広がっています
施策の方向	<ul style="list-style-type: none"> ●生涯学習の推進 ●スポーツ・レクリエーション活動の推進 ●社会・生活・自然体験事業の推進

【分析結果】

		平均値	標準偏差	相対順位	備考		
重要度		3.983	0.81	26/28	全体平均値： 4.257		
満足度		3.155	0.76	10/28	全体平均値： 3.047		
ニーズ値		0.827	—	27/28	全体平均値： 1.210 ※ニーズ値=重要度-満足度		
相対評価	Ⅲ	重要度は低い、満足度は高い項目		評価エリア	D	改善の必要性が低い項目	
ニーズ分析		項目単位	属性単位	凡例／【項目単位】数字は項目内での順位 【属性単位】数字は属性内の優先政策順位／網掛けの数字は平均以上を示す			
男女別	男	1	27				
	女	2	27				
年齢別	若年層	3	26				
	壮年層	1	24				
	高年層	2	27				
職業別	会社員	5	26				
	自営業	3	28				
	公務員	4	22				
	農林水産業	1	26				
	パート	6	24				
	専業主婦	9	28				
	学生	2	20				
	無職	8	27				
	その他	7	23				
地区別	新城・柘原地区	5	28				
	垂水地区	3	27				
	水之上・大野地区	4	27				
	協和地区	2	26				
	牛根地区全域	1	28				
居住年数別	5年未満	1	17				
	5～10年	3	27				
	10～20年	2	20				
	20年以上	4	28				
特記事項 (ニーズ分析結果)	●各属性において、他の政策よりニーズが低くなっている。						
自由意見	<ul style="list-style-type: none"> ●記入件数 14件／うち課題 4件・要望 7件・提言 0件・評価 2件・その他 1件 ●キーワード：参加しやすい市民講座の体制づくり／一人ひとりの意識づくり 						
平成26年度実施分との比較	●重要度、ニーズ値は低い、満足度は高い相対順位を維持しており、一定の成果が見られる。						
評価結果	●改善が低い政策であり、ニーズ値も低いことから、現状の取組みを継続していく必要がある。						

■政策別分析結果

7. 地域文化の促進・保護・活用

【政策の概要】

目標の考え方	古くから伝わる歴史民俗文化財や埋蔵文化財、また、郷土の偉人が残した功績は市民共有の財産であり歴史教育の教材です。これらを保存・活用・顕彰することや文化団体の支援、芸術家の育成、良質の芸術文化を提供するなど多様な文化活動を促進することにより郷土愛を育み、ゆとりと活力のある豊かな地域社会の実現を目指します。
目指すイメージ	●城下町として古い町並みや史跡等を多く残し、郷土芸能や年中行事が行われ、各地域では芸術文化活動が展開されています
施策の方向	●歴史民俗文化財や埋蔵文化財の保存・活用の推進 ●芸術文化活動の推進

【分析結果】

		平均値	標準偏差	相対順位	備考	
重要度		4.032	0.81	23/28	全体平均値： 4.257	
満足度		3.238	0.74	5/28	全体平均値： 3.047	
ニーズ値		0.794	—	28/28	全体平均値： 1.210 ※ニーズ値=重要度-満足度	
相対評価	Ⅲ	重要度は低い、満足度は高い項目		評価エリア	D	改善の必要性が低い項目
ニーズ分析		項目単位	属性単位	凡例／【項目単位】数字は項目内での順位 【属性単位】数字は属性内の優先政策順位／網掛けの数字は平均以上を示す		
男女別	男	1	28			
	女	2	28			
年齢別	若年層	3	28			
	壮年層	1	25			
	高年層	2	28			
職業別	会社員	5	28			
	自営業	2	23			
	公務員	7	27			
	農林水産業	1	19			
	パート	8	27			
	専業主婦	3	25			
	学生	6	27			
	無職	4	28			
	その他	9	28			
地区別	新城・柘原地区	4	26			
	垂水地区	3	28			
	水之上・大野地区	5	28			
	協和地区	2	27			
	牛根地区全域	1	24			
居住年数別	5年未満	1	27			
	5～10年	4	28			
	10～20年	2	27			
	20年以上	3	27			
特記事項 (ニーズ分析結果)	●各属性において、他の政策よりニーズが低い傾向にある。					
自由意見	●記入件数 15件／うち課題 4件・要望 6件・提言 3件・評価 0件・その他 2件 ●キーワード：文化意識の高揚／伝統行事の維持／文化財の活用促進					
平成26年度実施分との比較	●重要度の相対順位は低いが、満足度が上がっており、一定の成果が見られる。					
評価結果	●ニーズ値は最も低く、改善の必要性も低いことから、現状の取組みを継続していく必要がある。					

■政策別分析結果

8. 地域保健の充実

【政策の概要】

目標の考え方	市民が安心して暮らしていくために、生涯を通じた生活習慣病予防やがん予防など、保健事業の推進と保健医療活動の充実に取り組みます。また、生きがいを持つことが健康づくりにつながることから、地域における健康づくり活動や生きがいづくり支援を支えるため、地域包括ケア体制整備を図り、広く市民の健康増進に努めます。
目指すイメージ	●一人ひとりが生きがいを持ち、充実した生活を送っています
施策の方向	<ul style="list-style-type: none"> ●生きがいを支える環境整備 ●食育の体系化と推進 ●運動を活用した健康づくり ●乳幼児からの生活習慣病予防 ●心の健康づくり

【分析結果】

		平均値	標準偏差	相対順位	備考
重要度		4.434	0.70	8/28	全体平均値： 4.257
満足度		3.403	0.83	1/28	全体平均値： 3.047
ニーズ値		1.031	—	20/28	全体平均値： 1.210 ※ニーズ値=重要度-満足度
相対評価		I	重要度・満足度とも高い項目		評価エリア C 現在の水準を維持する項目
ニーズ分析		項目単位	属性単位	凡例／【項目単位】数字は項目内での順位 【属性単位】数字は属性内の優先政策順位 / 網掛けの数字は平均以上を示す	
男女別	男	1	22		
	女	2	20		
年齢別	若年層	1	11		
	壮年層	2	19		
	高年層	3	23		
職業別	会社員	4	16		
	自営業	7	27		
	公務員	5	16		
	農林水産業	6	28		
	パート	2	14		
	専業主婦	9	22		
	学生	1	6		
	無職	8	22		
その他	2	12			
地区別	新城・柘原地区	1	18		
	垂水地区	2	23		
	水之上・大野地区	3	17		
	協和地区	5	23		
	牛根地区全域	4	18		
居住年数別	5年未満	1	15		
	5～10年	3	25		
	10～20年	4	23		
	20年以上	2	20		
特記事項 (ニーズ分析結果)		●若年層のニーズは比較的高いものの、全体的に他の政策よりニーズが低い傾向にある。			
自由意見		<ul style="list-style-type: none"> ●記入件数 17件 / うち課題 0件・要望 13件・提言 3件・評価 0件・その他 1件 ●キーワード：スポーツジム等の健康増進施設の充実 / 検診・予防接種受診方法の改善 			
平成26年度実施分との比較		●満足度の相対順位は前回に引き続き1位であることから、一定の成果が見られる。			
評価結果		●他政策と比較して満足度が高い政策であり、現在の水準を維持するように取り組む必要がある。			

■政策別分析結果

9. 高齢者保健福祉の推進

【政策の概要】

目標の考え方	高齢者の充実した生活の創造を目指し、生涯現役社会づくりの推進や生活環境の向上に努めるとともに、総合相談体制を充実し、関係機関と連携を密にしながら認知症予防や権利擁護など推進します。また、地域に密着した介護サービスの基盤整備を図り、住み慣れた地域で高齢者が尊厳を持ち、安心して暮らし続けるための地域包括ケア体制づくりに努めます。
目指すイメージ	●高齢者への多面的な支援体制が充実し、住み慣れた地域の中で安心して生活できています
施策の方向	●介護予防の推進 ●高齢者支援体制の整備 ●介護サービスの充実

【分析結果】

		平均値	標準偏差	相対順位	備考
重要度		4.523	0.68	3/28	全体平均値： 4.257
満足度		3.122	0.85	11/28	全体平均値： 3.047
ニーズ値		1.401	—	5/28	全体平均値： 1.210 ※ニーズ値=重要度-満足度
相対評価	I	重要度・満足度とも高い項目		評価エリア	A 優先して改善を要する項目
ニーズ分析		項目単位	属性単位	凡例／【項目単位】数字は項目内での順位 【属性単位】数字は属性内の優先政策順位 / 網掛けの数字は平均以上を示す	
男女別	男	2	7		
	女	1	5		
年齢別	若年層	3	6		
	壮年層	1	6		
	高年層	2	5		
職業別	会社員	1	5		
	自営業	7	15		
	公務員	9	24		
	農林水産業	8	15		
	パート	3	5		
	専業主婦	4	6		
	学生	6	10		
	無職	5	5		
	その他	2	4		
地区別	新城・柘原地区	3	5		
	垂水地区	2	6		
	水之上・大野地区	4	6		
	協和地区	5	8		
	牛根地区全域	1	4		
居住年数別	5年未満	3	12		
	5～10年	4	10		
	10～20年	2	8		
	20年以上	1	5		
特記事項 (ニーズ分析結果)	●全体的に他の政策よりニーズが高くなっているが、職業別で見ると、勤め仕事の属性では特にニーズが高い傾向にある。また、牛根地区全域のニーズが高くなっている。				
自由意見	●記入件数 13件 / うち課題 3件・要望 4件・提言 5件・評価 0件・その他 1件 ●キーワード：高齢化による介護施設の不足への不安 / 介護職従事者の育成・確保				
平成26年度実施分との比較	●重要度は高くなっているが、満足度が大幅に低下しており、成果が見られない。				
評価結果	●高齢化社会に伴い重要度が高くなっているが、牛根地区の介護施設が不足等により、満足度が大幅に低下していることから、更なる改善に取り組む必要がある。				

■政策別分析結果

10. 障害者保健福祉の推進

【政策の概要】

目標の考え方	障害者があらゆる分野での社会参加が実現出来ることを基本とし、「障害の有無にかかわらず、全ての人が相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する地域社会（ノーマライゼーション）」を実現するため、障害者の身体的・精神的・社会的な適応能力を回復することにとどまらず、障害者がそれぞれの年代の生活段階において必要な日常生活又は社会生活を営むため、地域包括ケア体制整備を図り、全ての市民が生き生きとした生活を送り、共に生き、支え合う社会づくりに取り組みます。
目指すイメージ	●障害のある人が、住み慣れた地域で安心して暮らしています
施策の方向	●日常生活及び社会生活の支援

【分析結果】

		平均値	標準偏差	相対順位	備考			
重要度		4.367	0.74	10/28	全体平均値： 4.257			
満足度		3.038	0.71	15/28	全体平均値： 3.047			
ニーズ値		1.329	—	9/28	全体平均値： 1.210 ※ニーズ値=重要度-満足度			
相対評価	Ⅱ	重要度は高いが、満足度が低い項目		評価エリア	A	優先して改善を要する項目		
ニーズ分析		項目単位	属性単位	凡例／【項目単位】数字は項目内での順位 【属性単位】数字は属性内の優先政策順位 / 網掛けの数字は平均以上を示す				
男女別	男	2	11					
	女	1	6					
年齢別	若年層	3	10					
	壮年層	1	7					
	高年層	2	11					
職業別	会社員	3	7					
	自営業	6	16					
	公務員	2	8					
	農林水産業	4	8					
	パート	7	9					
	専業主婦	1	5					
	学生	9	22					
	無職	8	14					
	その他	5	6					
地区別	新城・柘原地区	5	12					
	垂水地区	2	8					
	水之上・大野地区	4	8					
	協和地区	1	4					
	牛根地区全域	3	9					
居住年数別	5年未満	3	8					
	5～10年	4	22					
	10～20年	1	6					
	20年以上	2	7					
特記事項 (ニーズ分析結果)	●各属性において、他の政策よりニーズが高くなっている。							
自由意見	●記入件数 6件／うち課題 0件・要望 4件・提言 0件・評価 0件・その他 2件 ●キーワード：障がい者（児）を取り巻く生活環境の改善／障がい者（児）に対する市民の理解促進							
平成26年度実施分との比較	●重要度、ニーズ値の数値は上がっているが、満足度に変化がないことから、成果が見られない。							
評価結果	●重要度に比べ満足度が低いことから、さらに満足度を高めるための取組みが必要である。							

■政策別分析結果

11. 医療体制の充実

【政策の概要】

目標の考え方	地域包括ケア体制を整備することにより、市民が安心して医療を受けることができるよう、垂水中央病院を核として、医師会や周辺市町との連携を図り、地域医療の確保と医療水準の向上及びサービスの提供を行う体制づくりに取り組みます。また、地域住民に対する24時間体制の医療を提供すること及び保健・医療・福祉の連携により地域住民の健康増進に取り組みます。
目指すイメージ	●地域医療体制が充実され、誰もが安心して医療サービスを受けています
施策の方向	●地域医療体制の充実と啓発 ●救急医療体制の充実 ●受診モラルの啓発

【分析結果】

		平均値	標準偏差	相対順位	備考
重要度		4.684	0.60	1/28	全体平均値： 4.257
満足度		2.788	1.00	25/28	全体平均値： 3.047
ニーズ値		1.896	—	1/28	全体平均値： 1.210 ※ニーズ値=重要度-満足度
相対評価	Ⅱ	重要度は高いが、満足度が低い項目		評価エリア	A 優先して改善を要する項目
ニーズ分析		項目単位	属性単位	凡例／【項目単位】数字は項目内での順位 【属性単位】数字は属性内の優先政策順位 / 網掛けの数字は平均以上を示す	
男女別	男	1	3		
	女	2	1		
年齢別	若年層	2	1		
	壮年層	1	1		
	高年層	3	3		
職業別	会社員	4	1		
	自営業	6	2		
	公務員	1	2		
	農林水産業	7	4		
	パート	2	1		
	専業主婦	5	1		
	学生	8	3		
	無職	9	3		
	その他	3	1		
地区別	新城・柁原地区	5	3		
	垂水地区	2	2		
	水之上・大野地区	4	3		
	協和地区	3	1		
	牛根地区全域	1	1		
居住年数別	5年未満	1	1		
	5～10年	4	3		
	10～20年	2	1		
	20年以上	3	2		
特記事項 (ニーズ分析結果)	●全ての属性において、ほぼ全政策中ニーズが上位であり、特に牛根地区全域では非常にニーズが高い。				
自由意見	●記入件数 59件／うち課題 32件・要望 23件・提言 3件・評価 0件・その他 1件 ●キーワード：医療体制(休日・夜間診療等)の充実／垂水中央病院のあり方／垂水徳洲会の存続				
平成26年度実施分との比較	●重要度の相対順位は前回に引き続き1位であるが、満足度は大幅に低下しており、成果が見られない。				
評価結果	●重要度は最も高いが、市内の医療体制の影響(牛根の医療機関不足や垂水徳洲会の閉鎖問題等)に伴い満足度が大幅に低下しており、優先して改善を行う必要がある。				

■政策別分析結果

12. 地域防災対策の推進

【政策の概要】

目標の考え方	自然災害から市民の生命と財産を守るため、垂水市地域防災計画に基づき、災害の予防、応急対策、復旧・復興対策を進めます。また、大規模な災害に対処するためには、防災関係機関による「公助」だけでなく、自分の身は自分で守る「自助」、地域のことは地域で守る「共助」が重要なことから、地域の防災力の向上に努めるとともに、防災等の情報共有を図るため、情報の収集や伝達、また、災害時要援護者に配慮した対策に取り組みます。	
目指すイメージ	●市民の防災に対する理解が深まり、災害に対する備えや心構えができています	
施策の方向	●防災体制の整備充実 ●防災意識の向上・防災教育の充実	●災害に強い都市基盤の整備 ●自主防災組織の育成と連携の強化

【分析結果】

		平均値	標準偏差	相対順位	備考
重要度		4.611	0.64	2/28	全体平均値： 4.257
満足度		3.265	0.87	4/28	全体平均値： 3.047
ニーズ値		1.346	—	8/28	全体平均値： 1.210 ※ニーズ値=重要度-満足度
相対評価		I	重要度・満足度とも高い項目		評価エリア A 優先して改善を要する項目
ニーズ分析		項目単位	属性単位	凡例／【項目単位】数字は項目内での順位 【属性単位】数字は属性内の優先政策順位 / 網掛けの数字は平均以上を示す	
男女別	男	2	9		
	女	1	7		
年齢別	若年層	2	7		
	壮年層	1	9		
	高年層	3	8		
職業別	会社員	5	8		
	自営業	6	18		
	公務員	2	6		
	農林水産業	3	9		
	パート	1	4		
	専業主婦	3	6		
	学生	9	16		
	無職	8	11		
	その他	7	10		
地区別	新城・柁原地区	4	7		
	垂水地区	3	10		
	水之上・大野地区	2	5		
	協和地区	5	9		
	牛根地区全域	1	5		
居住年数別	5年未満	1	4		
	5～10年	4	8		
	10～20年	2	7		
	20年以上	3	8		
特記事項 (ニーズ分析結果)		●ほぼ全ての属性においてニーズが高い傾向にある。			
自由意見		●記入件数 33件 / うち課題 12件・要望 13件・提言 3件・評価 4件・その他 1件 ●キーワード：防災ラジオによる防災情報発信の重要性 / 防災訓練による防災意識の向上			
平成26年度実施分との比較		●重要度、ニーズ値の相対順位は高いが、満足度も向上しており、一定の成果が見られる。			
評価結果		●満足度は上がっているが、評価エリアはAであるため、より高い成果を得るように努める必要がある。			

■政策別分析結果

13. 安心安全な地域社会の構築

【政策の概要】

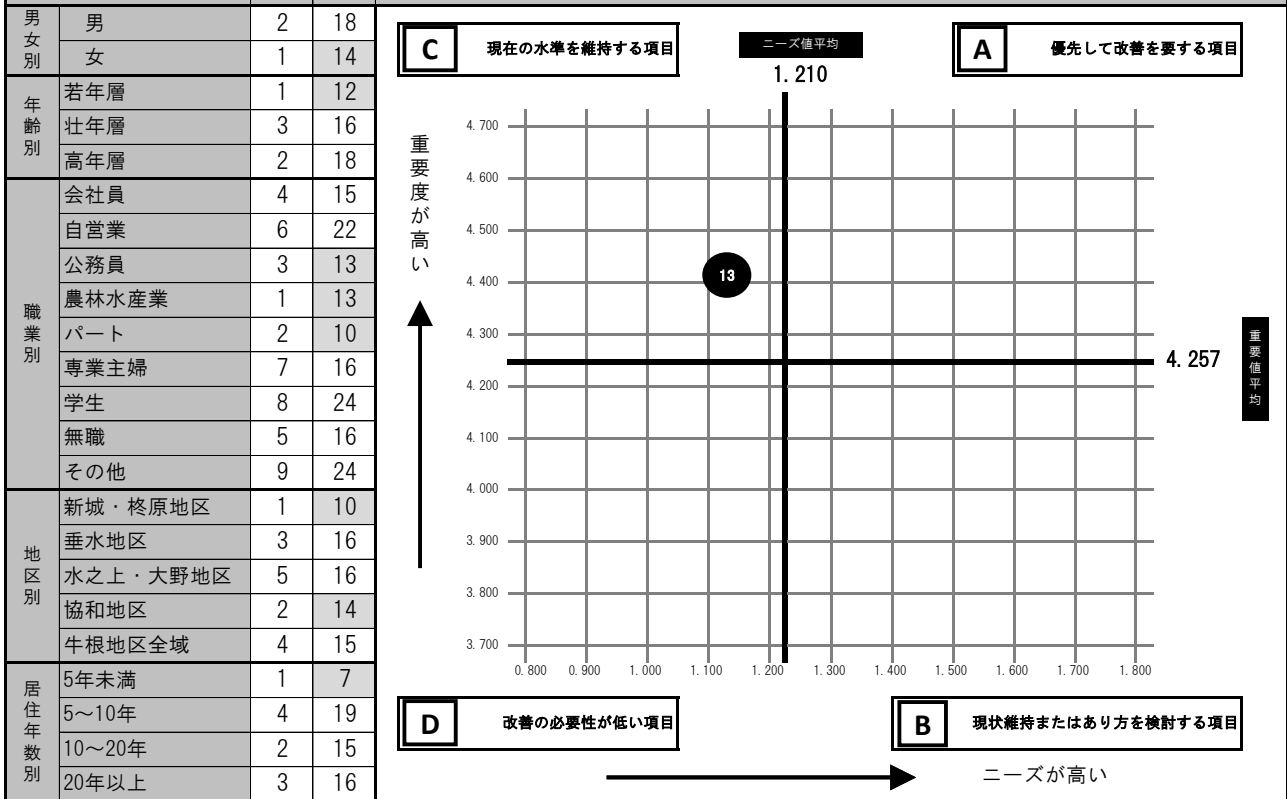
目標の考え方	犯罪のない、安全で安心して生活できるまちづくりを進めるために、協働による地域ぐるみの防犯活動の推進、消防機能や各種市民相談体制の充実など、安全で安心して生活できるまちづくりに取り組みます。特に、高齢者に関わる犯罪や事故を未然に防止するため、高齢者を取り巻く社会環境の整備などに取り組みます。
目指すイメージ	●安心して日常生活をおくることができます
施策の方向	●地域安全体制の強化 ●市民生活における安全の確保 ●消防力の整備

【分析結果】

	平均値	標準偏差	相対順位	備考
重要度	4.405	0.71	9/28	全体平均値： 4.257
満足度	3.274	0.74	3/28	全体平均値： 3.047
ニーズ値	1.130	—	16/28	全体平均値： 1.210 ※ニーズ値=重要度-満足度

相対評価	I	重要度・満足度とも高い項目	評価エリア	C	現在の水準を維持する項目
------	---	---------------	-------	---	--------------

ニーズ分析	項目単位	属性単位	凡例／【項目単位】数字は項目内での順位 【属性単位】数字は属性内の優先政策順位 / 網掛けの数字は平均以上を示す
-------	------	------	---



特記事項 (ニーズ分析結果) ●年齢別で見ると、若い年齢層においてニーズが高い傾向にあり、居住年数別で見ると5年未満の居住者でニーズが高い傾向になっている。

自由意見 ●記入件数 12件 / うち課題 4件・要望 4件・提言 2件・評価 0件・その他 2件
●キーワード：交通安全対策の充実 / 通学路・公園への防犯灯等の設置

平成26年度実施分との比較 ●満足度の数値、相対順位が上がっており、一定の成果が見られる。

評価結果 ●満足度が上がり、評価エリアもAからCとなっているため、現在の水準を維持していく必要がある。

■政策別分析結果

14. 快適な都市基盤の整備

【政策の概要】

目標の考え方	道路や住宅、公園などの都市基盤は、市民が快適な生活を営むとともに、経済活動や交流の活性化など、都市の発展の礎となる重要な役割を果たすものです。都市の発展の基本となる道路・交通体系などの基盤整備と市民生活に密着した居住環境の整備を進める必要があります。このような都市の健全な発展と秩序ある整備を図るため、地域振興計画等も参考にしながら都市計画マスタープランを策定し、効率的・計画的な都市基盤の整備に努めます。また、水道は市民生活における重要なライフラインのひとつであり、経済活動や社会的な活動を支える非常に大切な施設でもあります。今後も市民の皆様には「安心」な水を「安定」して「継続」的に供給できるよう努めていきます。
目指すイメージ	<ul style="list-style-type: none"> ●幹線道路や生活道路が整備され円滑な移動と交通の安全が確保されています ●住みやすい住環境が整備され誰もが快適に暮らしています
施策の方向	<ul style="list-style-type: none"> ●快適な居住環境の整備 ●交通の利便性の向上 ●特色ある快適な都市基盤整備

【分析結果】

		平均値	標準偏差	相対順位	備考
重要度		4.275	0.76	13/28	全体平均値： 4.257
満足度		2.883	0.82	24/28	全体平均値： 3.047
ニーズ値		1.392	—	6/28	全体平均値： 1.210 ※ニーズ値=重要度-満足度
相対評価		Ⅱ	重要度は高いが、満足度が低い項目		評価エリア A 優先して改善を要する項目
ニーズ分析		項目単位	属性単位	凡例／【項目単位】数字は項目内での順位 【属性単位】数字は属性内の優先政策順位／網掛けの数字は平均以上を示す	
男女別	男	1	5		
	女	2	8		
年齢別	若年層	2	5		
	壮年層	1	4		
	高年層	3	7		
職業別	会社員	3	6		
	自営業	2	5		
	公務員	9	15		
	農林水産業	1	6		
	パート	6	7		
	専業主婦	7	9		
	学生	4	11		
	無職 その他	5 8	6 8		
地区別	新城・柘原地区	4	8		
	垂水地区	1	5		
	水之上・大野地区	5	14		
	協和地区 牛根地区全域	3 2	7 7		
居住年数別	5年未満	3	5		
	5～10年	1	5		
	10～20年	2	5		
	20年以上	4	6		
特記事項 (ニーズ分析結果)		●各属性において、他の政策よりニーズが高くなっている。			
自由意見		<ul style="list-style-type: none"> ●記入件数 58件／うち課題 24件・要望 28件・提言 6件・評価 0件・その他 0件 ●キーワード：公共交通のあり方／垂水中央運動公園等の機能充実／道路（冠水対策）の整備 			
平成26年度実施分との比較		●重要度は高くなっているが、満足度が大幅に低下しており、成果が見られない。			
評価結果		●国道等の冠水問題に伴い、満足度が大幅に低下していることから、更なる改善に取り組む必要がある。			

■政策別分析結果

15. 循環型社会の構築

【政策の概要】

目標の考え方	地球規模の温暖化に対して、特に温暖化の最たる要因である温室効果ガス削減が重要な課題です。本市においては、廃棄物の27分別収集や再生可能エネルギーに対する取り組みを進めています。より一層の成果を上げるためにも、地域省エネルギー政策、再生可能エネルギー政策の充実と3R（リデュース・リユース・リサイクル）などの循環型社会構築に対して、市民総ぐるみで理解を深め、行動しているよう取り組みます。
目指すイメージ	<ul style="list-style-type: none"> ●市内全てでゴミ出しルールが定着し、廃棄物が適正に処理されています ●再生可能エネルギーが広く活用されています
施策の方向	<ul style="list-style-type: none"> ●再生可能エネルギーの活用の推進 ●ゴミの発生抑制 ●廃棄物適正処理 ●再資源化の促進 ●省エネルギーの推進

【分析結果】

		平均値	標準偏差	相対順位	備考	
重要度		4.276	0.75	12/28	全体平均値： 4.257	
満足度		3.230	0.80	6/28	全体平均値： 3.047	
ニーズ値		1.046	—	19/28	全体平均値： 1.210 ※ニーズ値=重要度-満足度	
相対評価		I	重要度・満足度とも高い項目	評価エリア	C	現在の水準を維持する項目
ニーズ分析		項目単位	属性単位	凡例／【項目単位】数字は項目内での順位 【属性単位】数字は属性内の優先政策順位 / 網掛けの数字は平均以上を示す		
男女別	男	2	21			
	女	1	16			
年齢別	若年層	3	24			
	壮年層	2	18			
	高年層	1	19			
職業別	会社員	9	22			
	自営業	1	20			
	公務員	8	21			
	農林水産業	6	27			
	パート	2	15			
	専業主婦	5	17			
	学生	7	20			
	無職	3	18			
その他	4	16				
地区別	新城・柘原地区	2	16			
	垂水地区	3	21			
	水之上・大野地区	5	20			
	協和地区	1	15			
居住年数別	5年未満	2	20			
	5～10年	3	24			
	10～20年	4	21			
	20年以上	1	19			
特記事項 (ニーズ分析結果)		●各属性において、他の政策よりニーズが低い傾向にある。				
自由意見		<ul style="list-style-type: none"> ●記入件数 13件 / うち課題 5件・要望 5件・提言 3件・評価 0件・その他 0件 ●キーワード：ゴミの分別に関する周知 / ゴミの回収方法の改善 / ゴミの不法投棄への対応 				
平成26年度実施分との比較		●重要度が高まっているが、満足度が低下しており、成果が見られない。				
評価結果		●満足が高いことから、現在の水準を維持していく必要がある。ただし、ゴミの分別への意見が多く出されており、これらの意見を踏まえ改善に取り組む必要がある。				

■政策別分析結果

16. 環境の保全

【政策の概要】

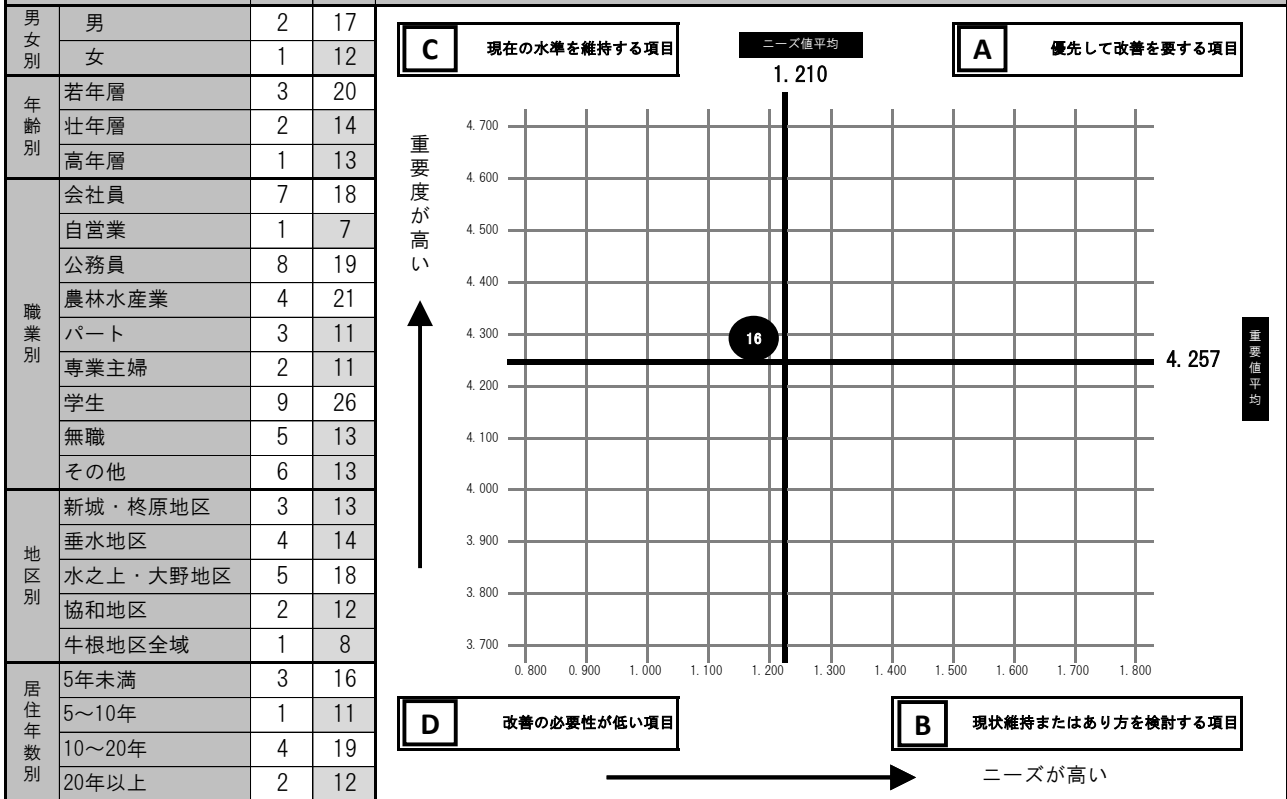
目標の考え方	次世代へ環境を引き継いでいくために環境美化意識の向上や河川や海の環境保全に努め、水質保全などに取り組みます。また、桜島、錦江湾、高隈山系などの自然景観や田園風景さらには市街地や歴史的町並みなどの景観の保全と創造に向けて、市民や事業者と一体となった垂水の良さを生かした景観形成に取り組みます。
目指すイメージ	●自然環境が良好な状態で保たれ、次世代に継承されています
施策の方向	●生活排水処理対策 ●環境美化の推進 ●河川、海の浄化の推進 ●景観保全政策

【分析結果】

	平均値	標準偏差	相対順位	備考
重要度	4.290	0.75	11/28	全体平均値： 4.257
満足度	3.113	0.77	12/28	全体平均値： 3.047
ニーズ値	1.177	—	14/28	全体平均値： 1.210 ※ニーズ値=重要度-満足度

相対評価	I	重要度・満足度とも高い項目	評価エリア	C	現在の水準を維持する項目
------	---	---------------	-------	---	--------------

ニーズ分析	項目単位	属性単位	凡例／【項目単位】数字は項目内での順位 【属性単位】数字は属性内の優先政策順位 / 網掛けの数字は平均以上を示す
-------	------	------	---



特記事項 (ニーズ分析結果)	●職業別で見ると自営業、地区別で見ると牛根地区全域でニーズが高い傾向にある。
自由意見	●記入件数 15件 / うち課題 3件・要望 7件・提言 2件・評価 0件・その他 3件 ●キーワード：河川の寄州除去・海岸等の美化促進 / 空き家・空き地の対策 / 集落清掃への対応
平成26年度実施分との比較	●重要度、満足度共に、前回同様の水準であり、大きな変化は見られない。
評価結果	●前回調査時の水準を維持しているが、本市の基本理念の一つであるため、より高い成果が得られるように取り組む必要がある。

■政策別分析結果

17. 地域資源の活用

【政策の概要】

目標の考え方	豊かな自然環境、景観、温泉、農水産物や歴史、文化など垂水市の持つ優れた地域資源を最大限に活用した観光や産業の振興に取り組みます。また、行政と市民と事業者が一体となって育むブランドの推進及び6次産業化に取り組み、本市の価値を創造し、積極的に広く内外へ情報発信していく取り組みを進めます。
目指すイメージ	●市民一人ひとりが地域資源のすばらしさを認識し、県内外にも垂水が認知されています
施策の方向	●地域資源の保全、管理 ●情報発信によるブランド定着 ●6次産業化の推進

【分析結果】

		平均値	標準偏差	相対順位	備考	
重要度		4.159	0.77	19/28	全体平均値： 4.257	
満足度		3.156	0.70	9/28	全体平均値： 3.047	
ニーズ値		1.003	—	22/28	全体平均値： 1.210 ※ニーズ値=重要度-満足度	
相対評価	Ⅲ	重要度は低い、満足度は高い項目		評価エリア	D	改善の必要性が低い項目
ニーズ分析		項目単位	属性単位	凡例／【項目単位】数字は項目内での順位 【属性単位】数字は属性内の優先政策順位 / 網掛けの数字は平均以上を示す		
男女別	男	1	19			
	女	2	23			
年齢別	若年層	2	19			
	壮年層	3	21			
	高年層	1	21			
職業別	会社員	4	19			
	自営業	2	19			
	公務員	3	14			
	農林水産業	1	16			
	パート	6	21			
	専業主婦	7	23			
	学生	8	24			
	無職	5	23			
	その他	9	26			
地区別	新城・柊原地区	3	22			
	垂水地区	2	20			
	水之上・大野地区	5	21			
	協和地区	1	18			
	牛根地区全域	4	26			
居住年数別	5年未満	1	19			
	5～10年	3	20			
	10～20年	4	22			
	20年以上	2	21			
特記事項 (ニーズ分析結果)	●各属性において、他の政策よりニーズが低い傾向にある。					
自由意見	●記入件数 12件 / うち課題 3件・要望 4件・提言 2件・評価 0件・その他 3件 ●キーワード：特徴を活かした地域資源活用 / 6次産業化による地産地消の推進					
平成26年度実施分との比較	●ニーズ値は低く、特に大きな変化は見られない。					
評価結果	●改善の必要が低い政策となっているが、本市の基本理念の一つであるため、より高い成果を得るように取り組む必要となる。					

■政策別分析結果

18. 魅力ある農林業の振興

【政策の概要】

目標の考え方	生産・生活基盤の整備をはじめ、経営の安定や環境にやさしい農業の推進など、特色ある農業の展開を図るとともに、担い手育成に努めます。また、消費者ニーズの把握に努めながら、地域の特性を生かした特産品や加工品の開発を促進するとともに、流通ルートの創出に取り組みます。さらに、特産品直売や地産地消の推進に努めます。林業については、森林と人との共生の観点に立った森林の保全利用を図ります。		
目指すイメージ	<ul style="list-style-type: none"> ●農業経営の安定化が図られ、生きがいを持って農業に従事しています ●農林業に関する情報が発信され、農林業に対する関心が深まっています 		
施策の方向	<ul style="list-style-type: none"> ●経営の安定化 ●地産地消の推進 ●農地利用調整活動 	<ul style="list-style-type: none"> ●担い手育成対策 ●ブランド化の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ●基盤整備 ●消費者ニーズの把握

【分析結果】

		平均値	標準偏差	相対順位	備考	
重要度		4.100	0.81	20/28	全体平均値： 4.257	
満足度		2.963	0.70	21/28	全体平均値： 3.047	
ニーズ値		1.137	—	15/28	全体平均値： 1.210 ※ニーズ値=重要度-満足度	
相対評価	IV	重要度・満足度とも低い項目		評価エリア	D	改善の必要性が低い項目
ニーズ分析		項目単位	属性単位	凡例／【項目単位】数字は項目内での順位 【属性単位】数字は属性内の優先政策順位 / 網掛けの数字は平均以上を示す		
男女別	男	1	15			
	女	2	15			
年齢別	若年層	3	17			
	壮年層	2	17			
	高年層	1	15			
職業別	会社員	5	17			
	自営業	2	14			
	公務員	7	16			
	農林水産業	1	3			
	パート	9	20			
	専業主婦	6	19			
	学生	4	15			
	無職	3	12			
その他	8	18				
地区別	新城・柘原地区	4	15			
	垂水地区	5	19			
	水之上・大野地区	2	10			
	協和地区	1	10			
居住年数別	5年未満	4	22			
	5～10年	2	16			
	10～20年	3	16			
	20年以上	1	15			
特記事項 (ニーズ分析結果)	●属性によりばらつきがあるが、年齢が高いほどニーズが高くなり、職業別で見ると農林水産業のニーズが高くなっている。					
自由意見	<ul style="list-style-type: none"> ●記入件数 19件 / うち課題 9件・要望 10件・提言 0件・評価 0件・その他 0件 ●キーワード：鳥獣害対策の充実 / 高齢化に伴う担い手育成 / 農地農道の整備 					
平成26年度実施分との比較	●重要度、満足度共に、前回同様の水準であり、特に大きな変化は見られない。					
評価結果	●改善の必要性が低い政策となっており、大きな変化も見られないが、本市の基幹産業であることを踏まえると、より満足度を上昇させる取組みが必要である。					

■政策別分析結果

19. 魅力ある水産業の振興

【政策の概要】

目標の考え方	水産業の振興を図るために、漁業生産の基盤となる漁港・漁場環境の整備を進めます。また、消費者ニーズの把握に努めるとともに、地産地消の推進や水産物のブランド化による新たな販売ルートの確保など、経営安定化と後継者の育成に努めます。
目指すイメージ	<ul style="list-style-type: none"> ●水産業経営の安定化と活性化が図られています ●水産業に関する情報が発信され、水産業に対する関心が深まっています
施策の方向	<ul style="list-style-type: none"> ●経営の安定化 ●地産地消の推進 ●消費者ニーズの把握 ●基盤整備 ●ブランド化による付加価値の向上 ●水産物販売施設の整備

【分析結果】

		平均値	標準偏差	相対順位	備考	
重要度		4.093	0.82	21/28	全体平均値： 4.257	
満足度		3.218	0.68	7/28	全体平均値： 3.047	
ニーズ値		0.875	—	25/28	全体平均値： 1.210 ※ニーズ値＝重要度－満足度	
相対評価	Ⅲ	重要度は低い、満足度は高い項目		評価エリア	D	改善の必要性が低い項目
ニーズ分析		項目単位	属性単位	凡例／【項目単位】数字は項目内での順位 【属性単位】数字は属性内の優先政策順位／網掛けの数字は平均以上を示す		
男女別	男	1	25			
	女	2	25			
年齢別	若年層	3	27			
	壮年層	2	27			
	高年層	1	25			
職業別	会社員	4	24			
	自営業	2	25			
	公務員	2	16			
	農林水産業	1	23			
	パート	6	25			
	専業主婦	7	27			
	学生	8	28			
	無職	5	26			
地区別	その他	8	27			
	新城・柘原地区	5	27			
	垂水地区	3	26			
	水之上・大野地区	4	23			
	協和地区	1	19			
居住年数別	牛根地区全域	2	22			
	5年未満	3	26			
	5～10年	1	26			
	10～20年	4	25			
	20年以上	2	25			
特記事項 (ニーズ分析結果)	●各属性において、他政策よりニーズが低い傾向にある。					
自由意見	<ul style="list-style-type: none"> ●記入件数 6件／うち課題 3件・要望 0件・提言 3件・評価 0件・その他 0件 ●キーワード：道の駅等を活かした地元での販売促進／養殖支援による産業振興 					
平成26年度実施分との比較	●重要度、満足度共に、前回同様の水準であり、特に大きな変化は見られない。					
評価結果	●改善の必要性が低い政策となっており、大きな変化も見られないが、本市の基幹産業であることを踏まえると、より高い成果が得られるように取り組む必要がある。					

■政策別分析結果

20. 活気ある商工業の振興

【政策の概要】

目標の考え方	市民の日常的な利便性の確保を図ることを基本に、垂水にあった商業のあり方やサービスを展開し、多様化・高度化する消費者ニーズに対応できる商業の育成や振興に取り組みます。
目指すイメージ	<ul style="list-style-type: none"> ●地域のふれあいを大切にした商業の育成により、市民生活の利便性が向上しています ●遊び心のある取り組みが進み、まちが活気にあふれています
施策の方向	<ul style="list-style-type: none"> ●商業経営の近代化 ●安心安全な商品の提供

【分析結果】

		平均値	標準偏差	相対順位	備考	
重要度		4.162	0.78	18/28	全体平均値： 4.257	
満足度		3.036	0.78	16/28	全体平均値： 3.047	
ニーズ値		1.126	—	17/28	全体平均値： 1.210 ※ニーズ値=重要度-満足度	
相対評価	IV	重要度・満足度とも低い項目		評価エリア	D	改善の必要性が低い項目
ニーズ分析		項目単位	属性単位	凡例／【項目単位】数字は項目内での順位 【属性単位】数字は属性内の優先政策順位／網掛けの数字は平均以上を示す		
男女別	男	1	13			
	女	2	19			
年齢別	若年層	2	14			
	壮年層	3	15			
	高年層	1	17			
職業別	会社員	4	14			
	自営業	1	10			
	公務員	2	10			
	農林水産業	5	20			
	パート	7	19			
	専業主婦	8	21			
	学生	3	11			
	無職	6	17			
その他	9	24				
地区別	新城・柊原地区	5	21			
	垂水地区	2	15			
	水之上・大野地区	3	12			
	協和地区	4	21			
	牛根地区全域	1	12			
居住年数別	5年未満	4	23			
	5～10年	1	8			
	10～20年	2	10			
	20年以上	3	17			
特記事項 (ニーズ分析結果)	●属性によりばらつきがあるが、年齢別では若い年齢層ほどニーズが高くなり、職業別で見ると自営業のニーズが高くなっている。					
自由意見	<ul style="list-style-type: none"> ●記入件数 9件／うち課題 2件・要望 3件・提言 2件・評価 0件・その他 2件 ●キーワード：商店街の活性化／特産品を取り扱う複合施設の整備 					
平成26年度実施分との比較	●満足度が上がり、ニーズ値が低下しており、一定の成果が見られる。					
評価結果	●満足度が上がり、評価エリアはDに改善されているが、まちの活性化のため、更なる改善を行う必要がある。					

■政策別分析結果

21. 働く環境の充実

【政策の概要】

目標の考え方	本市の一次産品を生かした産業創出への支援や時代のニーズに合った創業支援、既存産業の振興に努め、本市の特性を生かした働く人にとって住みやすいまちづくりを進めます。
目指すイメージ	<ul style="list-style-type: none"> ●地域資源を生かした産業の創業が行われています ●多種多様な雇用の場があります
施策の方向	<ul style="list-style-type: none"> ●雇用の確保 ●既存産業の振興 ●異業種交流 ●企業誘致 ●新たな産業の創出

【分析結果】

		平均値	標準偏差	相対順位	備考
重要度		4.484	0.72	7/28	全体平均値： 4.257
満足度		2.598	0.83	28/28	全体平均値： 3.047
ニーズ値		1.887	—	2/28	全体平均値： 1.210 ※ニーズ値=重要度-満足度
相対評価	Ⅱ	重要度は高いが、満足度が低い項目		評価エリア	A 優先して改善を要する項目
ニーズ分析		項目単位	属性単位	凡例／【項目単位】数字は項目内での順位 【属性単位】数字は属性内の優先政策順位／網掛けの数字は平均以上を示す	
男女別	男	1	1		
	女	2	2		
年齢別	若年層	1	2		
	壮年層	2	2		
	高年層	3	2		
職業別	会社員	4	2		
	自営業	7	3		
	公務員	1	1		
	農林水産業	3	1		
	パート	5	2		
	専業主婦	6	2		
	学生	2	1		
	無職	8	2		
その他	9	2			
地区別	新城・柘原地区	3	2		
	垂水地区	1	1		
	水之上・大野地区	2	1		
	協和地区	5	3		
居住年数別	5年未満	1	2		
	5～10年	3	1		
	10～20年	4	3		
	20年以上	2	1		
特記事項 (ニーズ分析結果)	●全ての属性において、ほぼ全政策中ニーズが上位であり、非常にニーズが高い。				
自由意見	<ul style="list-style-type: none"> ●記入件数 16件／うち課題 7件・要望 5件・提言 2件・評価 0件・その他 2件 ●キーワード：人口減少対策／若者が働ける場の確保 				
平成26年度実施分との比較	●重要度は依然高いが、満足度は全政策で最も相対順位が低く、成果が見られない。				
評価結果	●重要度は非常に高いが、満足度は前回に引き続き最下位であり、最優先で取り組む必要がある。				

■政策別分析結果

22. 魅力ある観光の振興

【政策の概要】

目標の考え方	垂水市の持つ観光拠点の整備開発を進め、年間を通じて市民や観光客が楽しめる魅力ある観光地づくりや観光情報の発信に取り組みます。また、観光推進体制の確立を図り、大隅半島の玄関口という地理的特性を生かした広域観光への取り組みに努めます。
目指すイメージ	●魅力ある観光地として交流人口が増えています
施策の方向	●観光推進体制 ●観光拠点の整備開発 ●観光情報発信 ●ツーリズムの推進

【分析結果】

		平均値	標準偏差	相対順位	備考
重要度		4.210	0.78	17/28	全体平均値： 4.257
満足度		2.973	0.80	20/28	全体平均値： 3.047
ニーズ値		1.236	—	11/28	全体平均値： 1.210 ※ニーズ値=重要度-満足度
相対評価	IV	重要度・満足度とも低い項目		評価エリア	B
現状維持またはあり方を検討する項目					
ニーズ分析		項目単位	属性単位	凡例／【項目単位】数字は項目内での順位 【属性単位】数字は属性内の優先政策順位 / 網掛けの数字は平均以上を示す	
男女別	男	1	10		
	女	2	11		
年齢別	若年層	3	13		
	壮年層	2	12		
	高年層	1	10		
職業別	会社員	3	10		
	自営業	1	6		
	公務員	9	19		
	農林水産業	2	11		
	パート	5	12		
	専業主婦	6	14		
	学生	4	16		
	無職	7	15		
その他	8	15			
地区別	新城・柊原地区	4	14		
	垂水地区	1	11		
	水之上・大野地区	2	7		
	協和地区	5	20		
居住年数別	5年未満	3	14		
	5～10年	4	14		
	10～20年	2	11		
	20年以上	1	11		
特記事項 (ニーズ分析結果)	●全体的にニーズが高い傾向にある。地区別で見ると、水之上・大野地区は他の政策よりニーズが高くなっている。				
自由意見	●記入件数 42件／うち課題 8件・要望 15件・提言 12件・評価 2件・その他 5件 ●キーワード：自然を生かした観光振興／道路等の観光地周辺の環境整備／大隅の玄関口としてのあり方				
平成26年度実施分との比較	●重要度、満足度共に、前回同様の水準であり、特に大きな変化は見られない。				
評価結果	●評価エリアはBであるが、満足度が下がっており、更なる改善に取り組む必要がある。				

■政策別分析結果

23. 市民参画による行政経営

【政策の概要】

目標の考え方	協働によるまちづくりの実現に向けて、市政の様々な場面で市民の参加と参画機会を十分に提供するとともに、市民と行政や議会との適切な役割分担のもと、相互の信頼関係が構築され、相互に支えあう協働の行政経営に取り組みます。
目指すイメージ	●市民一人ひとりが、市政や議会に関心を持ち、相互の信頼関係が築かれています
施策の方向	●市民参画機会の充実 ●地域振興計画の活用

【分析結果】

		平均値	標準偏差	相対順位	備考		
重要度		3.794	0.85	28/28	全体平均値： 4.257		
満足度		2.924	0.63	22/28	全体平均値： 3.047		
ニーズ値		0.870	—	26/28	全体平均値： 1.210 ※ニーズ値=重要度-満足度		
相対評価	IV	重要度・満足度とも低い項目		評価エリア	D	改善の必要性が低い項目	
ニーズ分析		項目単位	属性単位	凡例／【項目単位】数字は項目内での順位 【属性単位】数字は属性内の優先政策順位 / 網掛けの数字は平均以上を示す			
男女別	男	1	26				
	女	2	26				
年齢別	若年層	2	25				
	壮年層	3	28				
	高年層	1	26				
職業別	会社員	6	25				
	自営業	2	21				
	公務員	5	22				
	農林水産業	3	25				
	パート	9	28				
	専業主婦	8	24				
	学生	1	16				
	無職	4	25				
	その他	7	21				
地区別	新城・柘原地区	5	25				
	垂水地区	1	25				
	水之上・大野地区	4	26				
	協和地区	3	28				
	牛根地区全域	2	25				
居住年数別	5年未満	4	28				
	5～10年	1	15				
	10～20年	3	26				
	20年以上	2	26				
特記事項 (ニーズ分析結果)	●全ての属性においてニーズが低い傾向にある。						
自由意見	●記入件数 5件 / うち課題 3件・要望 1件・提言 0件・評価 0件・その他 1件 ●キーワード：パブリックコメント制度の周知 / 市民と行政が一体となった行政経営						
平成26年度実施分との比較	●ニーズ値は低く、特に大きな変化は見られない。						
評価結果	●改善の必要性が低い政策であり、各指標とも低い数値ではあるが、本市基本理念の一つであることから、あり方を検討する必要がある。						

■政策別分析結果

24. 市民の目線による行政経営

【政策の概要】

目標の考え方	市民の目線に立ち、積極的で分かりやすい情報提供をするとともに市民ニーズを的確に把握し、真に必要とされるサービスの提供を行います。
目指すイメージ	●市民と行政の意見交換が活発に行われています
施策の方向	●広報広聴の充実 ●情報公開の推進 ●市民本位のサービス提供

【分析結果】

		平均値	標準偏差	相対順位	備考	
重要度		3.988	0.87	25/28	全体平均値： 4.257	
満足度		3.028	0.77	17/28	全体平均値： 3.047	
ニーズ値		0.961	—	23/28	全体平均値： 1.210 ※ニーズ値=重要度-満足度	
相対評価	IV	重要度・満足度とも低い項目		評価エリア	D	改善の必要性が低い項目
ニーズ分析		項目単位	属性単位	凡例／【項目単位】数字は項目内での順位 【属性単位】数字は属性内の優先政策順位 / 網掛けの数字は平均以上を示す		
男女別	男	1	20			
	女	2	24			
年齢別	若年層	2	23			
	壮年層	3	26			
	高年層	1	20			
職業別	会社員	5	21			
	自営業	2	17			
	公務員	9	28			
	農林水産業	3	22			
	パート	6	23			
	専業主婦	8	26			
	学生	1	3			
	無職	4	21			
	その他	7	22			
地区別	新城・柘原地区	1	20			
	垂水地区	4	24			
	水之上・大野地区	5	24			
	協和地区	2	22			
	牛根地区全域	3	20			
居住年数別	5年未満	4	25			
	5～10年	1	23			
	10～20年	3	24			
	20年以上	2	23			
特記事項 (ニーズ分析結果)	●各属性において、他の政策よりニーズが低くなっている。					
自由意見	●記入件数 11件／うち課題 3件・要望 5件・提言 0件・評価 3件・その他 0件 ●キーワード：広報誌以外の情報源の充実／広く住民の意見・要望を聞く場づくり					
平成26年度実施分との比較	●満足度の相対順位が上がり、ニーズ値も改善されており、一定の成果が見られる。					
評価結果	●改善の必要性が低い政策であり、一定の成果は見られるが、依然満足度が低いため、より高い成果を得るように努める必要がある。					

■政策別分析結果

25. 市民の期待に応える職員の育成

【政策の概要】

目標の考え方	住民ニーズはますます高度化、多様化しており、価値観やライフスタイルの多様化も顕著になっている現在、時代の変化に適応した新たな行政施策の展開が求められています。徹底した行政改革の推進、健全財政の維持、職員の定員管理についても適正化を進めてきており、最小の経費で最大の効果が上がるよう、さらに効率的な行政運営を進めていく必要があります。そのため、行政の担い手となる職員の意欲や姿勢の改革、職務能力の一層の向上を図り、組織としても積極的に人材育成の取組を強化していきます。
目指すイメージ	●職員一人ひとりが成果やコスト意識を持って業務に取り組んでいます
施策の方向	●人材育成基本方針に基づく職員の育成

【分析結果】

		平均値	標準偏差	相対順位	備考
重要度		4.268	0.84	14/28	全体平均値： 4.257
満足度		2.772	0.92	26/28	全体平均値： 3.047
ニーズ値		1.496	—	4/28	全体平均値： 1.210 ※ニーズ値=重要度-満足度
相対評価		Ⅱ	重要度は高いが、満足度が低い項目		評価エリア A 優先して改善を要する項目
ニーズ分析		項目単位	属性単位	凡例／【項目単位】数字は項目内での順位 【属性単位】数字は属性内の優先政策順位 / 網掛けの数字は平均以上を示す	
男女別	男	1	4		
	女	2	4		
年齢別	若年層	3	9		
	壮年層	2	5		
	高年層	1	4		
職業別	会社員	3	4		
	自営業	1	4		
	公務員	8	25		
	農林水産業	2	5		
	パート	7	8		
	専業主婦	4	4		
	学生	9	23		
	無職	5	4		
地区別	新城・柘原地区	4	4		
	垂水地区	1	4		
	水之上・大野地区	5	4		
	協和地区	3	5		
居住年数別	5年未満	2	6		
	5～10年	3	7		
	10～20年	4	9		
	20年以上	1	4		
特記事項 (ニーズ分析結果)		●全ての属性でニーズが高くなっている。			
自由意見		●記入件数 37件／うち課題 10件・要望 14件・提言 2件・評価 4件・その他 7件 ●キーワード：市職員数の削減・資質向上／職員の接遇向上			
平成26年度実施分との比較		●満足度が低く、ニーズ値が高いため、成果が見られない。			
評価結果		●職員の接遇に対する意見が多くあり、満足度が低く、ニーズ値が高い政策であるため、優先して改善を行う必要がある。			

■政策別分析結果

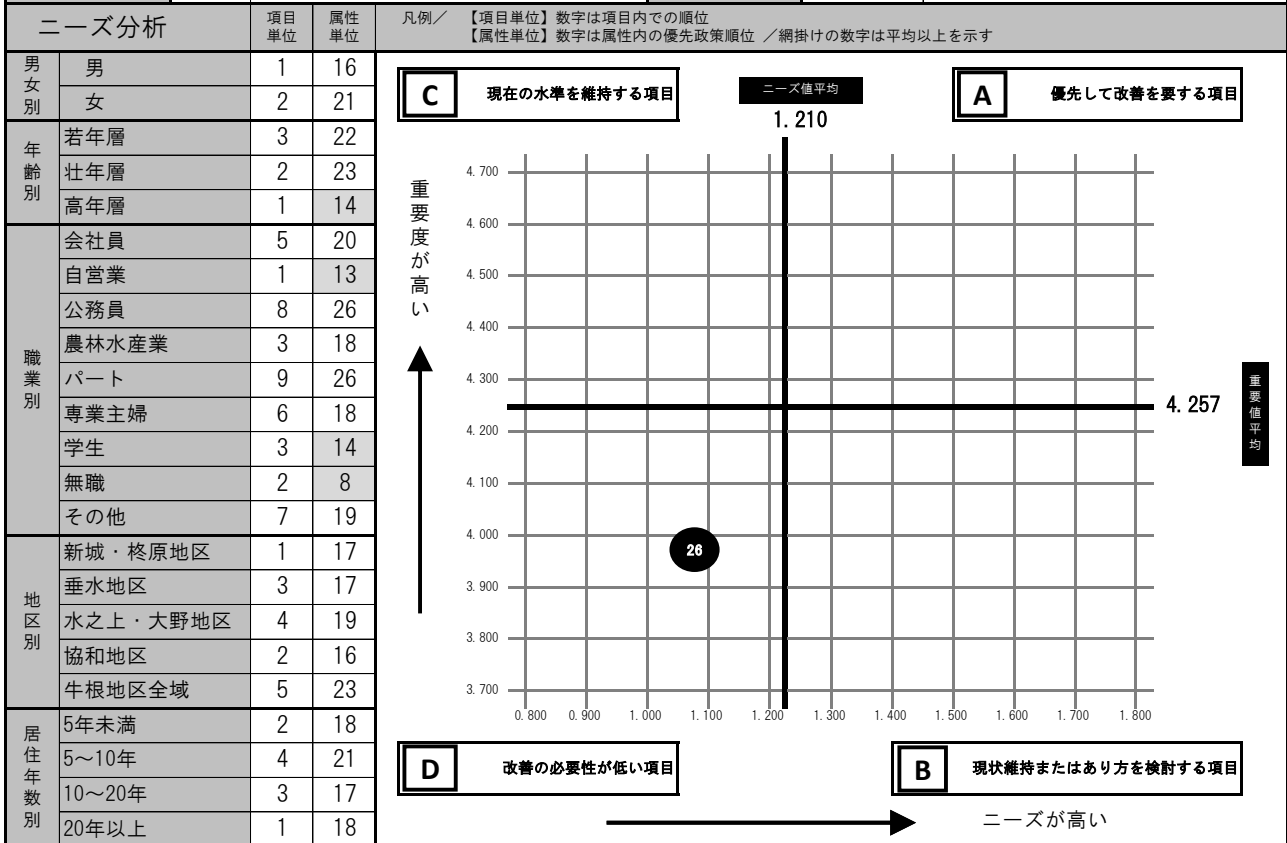
26. 行政改革の推進

【政策の概要】

目標の考え方	地方分権時代において、自治体としての自立と自己責任による行政経営が求められるとともに、市政の運営を担う行政には、将来にわたって、永続的に市民から信頼され、その負託に応えていくという大きな責務が課せられています。このため、行政改革大綱に基づき、「新しい公共」の形成を理念として、持続可能な財政基盤を確立するとともに、徹底した行政改革を推進することにより、市民や地域の力が最大限に発揮できる新しい形の行政経営を進めます。また、真の地方主権の確立に向けた権限の移譲を求め、国・県との対等な関係を構築するとともに、近隣市町との連携のもと広域的な行政課題の解決に取り組みます。
目指すイメージ	●行政改革が進み、新しい公共という形の行政経営が行われています
施策の方向	●定員適正化の推進と民間能力の活用 ●行政を評価する仕組みの構築

【分析結果】

	平均値	標準偏差	相対順位	備考
重要度	3.975	0.86	27/28	全体平均値： 4.257
満足度	2.896	0.70	23/28	全体平均値： 3.047
ニーズ値	1.079	—	18/28	全体平均値： 1.210 ※ニーズ値=重要度-満足度
相対評価	IV	重要度・満足度とも低い項目		評価エリア D 改善の必要性が低い項目



特記事項 (ニーズ分析結果)	●属性によりニーズにばらつきがある。職業別で見ると、自営業及び無職の属性におけるニーズが高くなっている。
自由意見	●記入件数 7件／うち課題 1件・要望 2件・提言 2件・評価 0件・その他 2件 ●キーワード：各課の連携／組織の見直し
平成26年度実施分との比較	●重要度、満足度共に、前回同様の水準であり、大きな変化は見られない。
評価結果	●改善の必要性が低い政策であるが、満足度が低いため、より満足度を上昇させる取組みが必要である。

■政策別分析結果

27. 財政運営の健全化

【政策の概要】

目標の考え方	健全な財政基盤を確立するためには、財政の弾力性を高めると共に、真に必要とされるサービスを選択することが重要です。このため、自らの責任において、財源を確保し、市民の理解度を高めていくという視点で必要とされる公共サービスを常に効果的・効率的かつ安定的に供給できるという持続可能な財政運営に努めます。
目指すイメージ	●持続可能な財政運営が行われています
施策の方向	●財政運営の効率化の推進 ●安定的な財源の確保

【分析結果】

		平均値	標準偏差	相対順位	備考
重要度		4.253	0.83	16/28	全体平均値： 4.257
満足度		2.987	0.77	19/28	全体平均値： 3.047
ニーズ値		1.266	—	10/28	全体平均値： 1.210 ※ニーズ値＝重要度－満足度
相対評価	Ⅳ	重要度・満足度とも低い項目		評価エリア	B 現状維持またはあり方を検討する項目
ニーズ分析		項目単位	属性単位	凡例／【項目単位】数字は項目内での順位 【属性単位】数字は属性内の優先政策順位／網掛けの数字は平均以上を示す	
男女別	男	2	12		
	女	1	10		
年齢別	若年層	3	15		
	壮年層	2	11		
	高年層	1	6		
職業別	会社員	7	12		
	自営業	2	8		
	公務員	3	9		
	農林水産業	5	14		
	パート	9	13		
	専業主婦	4	10		
	学生	1	9		
	無職	6	9		
	その他	8	11		
地区別	新城・柘原地区	3	9		
	垂水地区	1	9		
	水之上・大野地区	4	9		
	協和地区	2	11		
居住年数別	5年未満	1	11		
	5～10年	3	12		
	10～20年	4	12		
	20年以上	2	10		
特記事項 (ニーズ分析結果)	●各階層におけるニーズ値は全体的に高い傾向にある。				
自由意見	●記入件数 6件／うち課題 1件・要望 3件・提言 1件・評価 1件・その他 0件 ●キーワード：人口減少に伴う健全な財政運営／ふるさと納税の推進				
平成26年度実施分との比較	●満足度が上がっており、一定の成果が見られる。				
評価結果	●満足度が上がっているが、依然満足度の相対順位が低いため、より満足度を上昇させる取り組みが必要である。				

■政策別分析結果

28.重点プロジェクト「人口減少対策プロジェクト」

【政策の概要】

目標の考え方	第4次総合計画後期基本計画において、人口減少対策プログラムを重点プロジェクトと位置付け、「住環境整備」や「子育て支援の充実」に取り組み、プログラムの将来ビジョン「魅力ある住みやすいまち垂水市」を目指します。	
目指すイメージ	<ul style="list-style-type: none"> ●子どもを産み育てやすいまちになっています ●良好な住環境の整備が促進されています ●交通網の整備促進により近隣市との距離がさらに短くなり、就業先、通学先、買い物環境、医療環境など選択肢が広がっています 	
施策の方向	<ul style="list-style-type: none"> ●社会基盤整備（受け皿づくり） ●受け皿への誘導と転出入対策 ●出産しやすい環境づくり 	<ul style="list-style-type: none"> ●既存住宅の活用 ●若年層の交流促進 ●子育てしやすい環境づくり

【分析結果】

		平均値	標準偏差	相対順位	備考
重要度		4.515	0.73	5/28	全体平均値： 4.257
満足度		2.683	0.82	27/28	全体平均値： 3.047
ニーズ値		1.832	—	3/28	全体平均値： 1.210 ※ニーズ値=重要度-満足度
相対評価	Ⅱ	重要度は高いが、満足度が低い項目		評価エリア	A 優先して改善を要する項目
ニーズ分析		項目単位	属性単位	凡例／【項目単位】数字は項目内での順位 【属性単位】数字は属性内の優先政策順位／網掛けの数字は平均以上を示す	
男女別	男	1	2		
	女	2	3		
年齢別	若年層	3	3		
	壮年層	1	3		
	高年層	2	1		
職業別	会社員	3	3		
	自営業	1	1		
	公務員	4	4		
	農林水産業	2	1		
	パート	7	3		
	専業主婦	6	3		
	学生	9	6		
	無職	5	1		
	その他	8	3		
地区別	新城・柁原地区	4	1		
	垂水地区	1	3		
	水之上・大野地区	5	2		
	協和地区	3	2		
	牛根地区全域	2	2		
居住年数別	5年未満	3	3		
	5～10年	4	2		
	10～20年	1	2		
	20年以上	2	3		
特記事項 (ニーズ分析結果)	●全ての属性において、全政策中ニーズが上位であり、非常にニーズが高い。				
自由意見	<ul style="list-style-type: none"> ●記入件数 7件／うち課題 1件・要望 5件・提言 1件・評価 0件・その他 0件 ●キーワード：移住定住の促進／将来を担う人材育成／振興会（集落）の在り方 				
平成26年度実施分との比較	●重要度は高いが、満足度は低下しており、成果が見られない。				
評価結果	●ニーズ値が非常に高い政策であり、自由意見でも人口減少に対する意見が多いことから、最優先で取り組む必要がある。				

3. 今後の居住志向

前回の調査に引き続き、設問29に「あなたは今後も、垂水市に住み続けたいと思いますか？」を設け、「思う」から「思わない」の5段階評価とその理由を尋ねた。

集計結果については、次のとおりである。

(1) 回答状況

		5 : 思う	4 : どちらかといえ ばそう思う	3 : どちらとも いえない	2 : どちらかといえ ばそう思わない	1 : 思わない
回答者数	H28	366 件	205 件	176 件	57 件	26 件
	H26	393 件	186 件	161 件	63 件	29 件
	差	-27	+19	+15	-6	-3
回答割合	H28	44.1%	24.7%	21.2%	6.9%	3.1%
	H26	47.2%	22.4%	19.4%	7.6%	3.5%
	差	-3.1	+2.3	+1.8	-0.7	-0.4

(2) 回答者属性別の集計結果

	項目	平均値		
		H28	H26	差
男女別	男	4.04	4.08	-0.04
	女	3.97	3.98	-0.01
年齢別	若年層	3.53	3.38	+0.15
	壮年層	3.86	3.84	+0.02
	高年層	4.25	4.32	-0.07
職業別	会社員	3.80	3.85	-0.05
	自営業	4.36	4.07	+0.29
	公務員	3.85	3.86	-0.01
	農林水産業	4.49	4.42	+0.07
	パート	3.69	3.68	+0.01
	専業主婦(主夫)	4.06	4.03	+0.03
	学生	2.33	3.50	-1.17
	無職	4.21	4.24	-0.03
	その他	3.75	4.11	-0.36

	項目	平均値		
		H28	H26	差
地区別	新城・柁原地区	4.14	4.16	-0.02
	垂水地区	4.00	4.10	-0.10
	水之上・大野地区	3.97	3.95	+0.02
	協和地区	3.93	3.81	+0.12
	牛根地区全域	3.92	3.84	+0.08
居住年数別	5年未満	3.59	3.60	-0.01
	5～10年	3.53	3.53	0.00
	10～20年	3.46	3.65	-0.19
	20年以上	4.14	4.14	0.00

全体平均		
H28	H26	差
4.00	4.02	-0.02

(3) 自由意見記入状況

自由意見は、合計520人が評価の理由を記入している。その主な理由をキーワード設定して整理した。

主な理由	5 思う	4 どちらかと言え ばそう思う	3 どちらとも いえない	2 どちらかと言え ばそう思わない	1 思わない	合 計
生まれ育ったまちだから	96	24	0	0	0	120
住みやすい（住み慣れた）	42	30	0	0	0	72
ふるさと（先祖・実家）だから	18	6	0	0	0	24
自然環境（自然の恵み）が良い	24	6	0	0	0	30
垂水市が生活基盤	25	15	1	0	0	41
地域の絆（人情）	8	5	0	0	0	13
介護・高齢他やむを得ず	1	0	0	1	0	2
垂水市が好き	11	0	0	0	0	11
雇用・経済の活性化要望	0	0	1	3	0	4
行財政・税金への要望	0	0	5	9	3	17
交通・商業環境の充実要望	0	0	8	5	6	19
人口減少対策要望	0	3	4	4	1	12
医療環境の充実要望	0	0	13	5	1	19
介護福祉環境充実への要望	0	0	0	1	0	1
教育環境充実への要望	0	0	4	2	0	6
住環境充実への要望（降灰）	0	0	1	2	0	3
住環境の充実要望（降灰以外）	0	0	3	1	2	6
住み続ける理由が見つからない	0	0	0	0	5	5
今後住み続けるか分からない	0	0	27	0	0	27
防災対策の充実への要望	0	0	3	2	0	5
その他	30	29	9	11	4	83
件数 (比率)	255 (40.04%)	118 (22.69%)	79 (15.19%)	46 (8.85%)	22 (4.23%)	520 (100.00%)
	71.73%		15.19%	13.08%		—

(4) 評価・分析まとめ

①回答状況について(38頁参照)

「住み続けたいと思う」の割合は前回調査時から3.1%低下しており、「どちらかといえばそう思う」の割合が上昇している。一方、「住み続けたいと思わない」、「どちらかといえばそう思わない」の割合は若干減少している。この結果、「居住志向がある(5・4を選択)」とした人が、合計571人(68.8%)、「居住志向がない(2・1を選択)」とした人が、合計83人(10%)という結果となった。

②回答者属性別の集計結果について(38頁参照)

回答者属性別の平均値を算出し、前回調査時との比較を行った。

男女別、職業別、居住年数別の項目では、前回調査時から顕著な変化は見られないが、年齢別の項目を見てみると「若年層」と「壮年層」の居住志向が強まっているが、「高齢層」は老後(医療・介護や交通・買い物等)への不安から、居住志向が減少傾向となっている。

また、地区別の項目を見てみると、「牛根地区」が前回調査時より若干上昇したが、依然低い平均値となっており、最も高い「新城地区」との差が0.22ポイントと大きく開きがある。

③自由意見記入状況について(39頁参照)

居住志向がある回答者の主な理由の傾向は、「生まれ育ったまち・ふるさと」・「住みやすい」・「自然環境が良い」という意見が多数であった。

一方、居住志向がない回答者の傾向は、「人口減少対策への不満」や「高齢化社会における医療・介護等への不安」といった意見がある。

なお、記入された意見の主なものを掲載しており、自由意見については、意見の原文を、別途「平成28年度市民満足度調査結果報告書 資料集」としてまとめる。

④まとめ

回答結果のうち「住み続けたいと思う」、「どちらかといえばそう思う」の割合は、全体の約7割を占めており、居住志向は高いと言える。

しかし、前述のとおり、「垂水市に住み続けたいと思う」と考える割合が減少しており、全体の平均値も減少していることから、住み続けたいと思わない理由として挙げられたことに対して改善を行い、居住志向を高めていく取組みが必要である。

4. 平成28年度市民満足度調査総括

平成28年度の市民満足度調査では、「2. 政策別分析結果」で政策ごとに評価分析を行い、今後の施策推進のための方向性等を示し、「3. 今後の居住志向」では、回答者属性別の分析を行った。

ここでは、総括として、上記の結果から優先し重点化して取り組んでいく政策についてまとめる。

なお、政策ごとに詳細な分析を行いたい場合には、本データを配布できるので、更なる政策の確実な実行に役立てていただきたい。

(1) 調査全般に関する評価

前回調査に引き続き、各振興会長に協力をいただくことで割当法での調査を実施し、今回調査においても配布数の約9割の回答があった。

しかし、前回調査と比較すると回収率が若干減少しており、特に高齢層の回答数が少なくなっている。

このことは、自由意見にも多く挙げられた「調査項目が多く回答が大変」であるということが、原因の一つではないかと考えられる。

今回調査も前回調査同様に、基本目標ごとに自由意見を求める方式で実施したが、今後も回答者の負担の軽減を図る工夫を講じる必要がある。

(2) 全体分析における政策評価（平成28年度市民満足度調査分）

一般的に政策の重要度が高く、満足度が低いものは、早急に対策を講ずるべきという判断がなされる。設定したニーズ値は、この重要度と満足度の差であり、これを社会的ニーズとして定義している。

このニーズ値の高い上位10政策については、次表のとおりである。

◎全体分析／ニーズ値（重要度－満足度）

順位	政策名	ニーズ値	重要度の順位 満足度の順位	前回 順位	前回 ニーズ値
1	11. 医療体制の充実	1. 896	重要度 1 位 満足度 25 位	3	1. 548
2	21. 働く環境の充実	1. 887	重要度 7 位 満足度 28 位	1	1. 862
3	重点「人口減少対策プロジェクト」	1. 832	重要度 5 位 満足度 27 位	2	1. 793
4	25. 市民の期待に応える職員の育成	1. 496	重要度 14 位 満足度 26 位	4	1. 391
5	9. 高齢者保健福祉の推進	1. 401	重要度 3 位 満足度 11 位	11	1. 152
6	14. 快適な都市基盤の整備	1. 392	重要度 13 位 満足度 24 位	15	1. 115
7	4. 子育て支援体制の充実	1. 355	重要度 4 位 満足度 8 位	6	1. 275
8	12. 地域防災対策の推進	1. 346	重要度 2 位 満足度 4 位	7	1. 264
9	10. 障害者保健福祉の推進	1. 329	重要度 10 位 満足度 15 位	8	1. 244
10	27. 財政運営の健全化	1. 266	重要度 16 位 満足度 19 位	5	1. 278

(3) 平成26年度市民満足度調査との比較

平成26年度調査時との満足度及びニーズ値を視点とした比較により、各政策の成果確認を行った。基本的に「満足度」が増加したものの、又は「ニーズ値」が減少したものを成果が確認できたものとし、「満足度」が減少したものの、又は「ニーズ値」が増加したものは、成果が確認できなかったものとしている。なお、重要度については、成果確認の対象とはしていないが、最終的な評価結果をまとめる上で参考として示している。

① 重要度

重要度の平均値は、平成26年度と比較し0.029ポイント上昇した。政策別にみると平均値が上がった政策が21政策、下がった政策は6政策、変動なしが1政策、また、相対順位の変動は、順位の上がったものが11政策、下がったものが10政策、変動なしが7政策となった。

重要度の数値が大きく伸びた政策の上位3政策は次のとおりである。

- [1] 14. 快適な都市基盤の整備 +0.121
- [2] 4. 子育て支援体制の充実 +0.120
- [3] 3. 地域を支える人材の育成 +0.088

② 満足度

満足度の平均値は、平成26年度と比較し0.049ポイント低下した。政策別にみると平均値が上がった政策が9政策、下がった政策が19政策、また、相対順位の変動は、順位の上がったものが14政策、下がったものが8政策、変動なしが6政策となった。

満足度の数値が上昇したものと低下したものの上位3政策は次のとおりである。

【数値が上昇した政策】

- [1] 20. 活気ある商工業の振興 +0.052
- [2] 4. 子育て支援体制の充実 +0.040
- [3] 3. 地域を支える人材の育成 +0.030

【数値が低下した政策】

- [1] 11. 医療体制の充実 -0.302
- [2] 9. 高齢者保健福祉の推進 -0.184
- [3] 14. 快適な都市基盤の整備 -0.156

③ ニーズ値

ニーズ値の平均値は、平成26年度と比較し0.078ポイント上昇した。政策別にみると平均値が上がった政策が22政策、下がった政策が6政策、また、相対順位の変動は、順位の上がったものが9政策、下がったものが13政策、変動なしが6政策となった。

改善された政策（ニーズ値の数値が減少したもの）及び改善が見られない政策（ニーズ値の数値が増加したもの）の上位3政策は次のとおりである。

【改善された政策】

- [1] 13. 安心安全な地域社会の構築 -0.055
- [2] 19. 魅力ある水産業の振興 -0.032
- [3] 20. 活気ある商工業の振興 -0.024

【改善が見られない政策】

- [1] 11. 医療体制の充実 +0.348
- [2] 14. 快適な都市基盤の整備 +0.277
- [3] 9. 高齢者保健福祉の推進 +0.249

(4) 平成26年度市民満足度調査重点化4政策の検証

平成26年度重点化の4政策について、次のとおり検証を行った。

① 4. 子育て支援体制の充実

	重要度		満足度		ニーズ値		相対評価	評価 エリ7
	平均値	相対順位	平均値	相対順位	平均値	相対順位		
H28	4.516	4	3.161	8	1.355	7	I	A
H26	4.396	8	3.121	12	1.275	6	I	A
差	0.120	↑4	0.040	↑4	0.080	↓1		

【考察】

満足度の平均値及び相対順位は、平成 26 年度調査時と比較し上昇しており、一定の事業成果が見られる。しかし、重要度の相対順位が 4 ランク上昇し、ニーズ値の平均値及び相対順位は依然として高いことから、引き続き取り組んでいく必要がある。

② 11. 医療体制の充実

	重要度		満足度		ニーズ値		相対評価	評価 エリア
	平均値	相対順位	平均値	相対順位	平均値	相対順位		
H28	4.684	1	2.788	25	1.896	1	Ⅱ	A
H26	4.638	1	3.090	15	1.548	3	Ⅱ	A
差	0.046	0	-0.302	↓10	0.348	↑2		

【考察】

平成 26 年度調査時に引き続き重要度の相対順位は 1 位となっているが、満足度の平均値及び相対順位が大きく低下し、依然として相対評価もⅡとなっており、成果が見られない。満足度向上のために、優先して改善を要する項目である。

③ 21. 働く環境の充実

	重要度		満足度		ニーズ値		相対評価	評価 エリア
	平均値	相対順位	平均値	相対順位	平均値	相対順位		
H28	4.484	7	2.598	28	1.887	1	Ⅱ	A
H26	4.465	5	2.603	28	1.862	1	Ⅱ	A
差	0.019	↓2	-0.006	0	0.025	0		

【考察】

平成 26 年度調査時に引き続き、満足度の相対順位は最下位であり、平均値も低下していることから、成果は見られない。市民ニーズが高いことから、引き続き重点的な取り組みが必要である。

④ 25. 市民の期待に応える職員の育成

	重要度		満足度		ニーズ値		相対評価	評価 エリア
	平均値	相対順位	平均値	相対順位	平均値	相対順位		
H28	4.268	14	2.772	26	1.496	4	Ⅱ	A
H26	4.249	12	2.857	26	1.391	4	Ⅱ	A
差	0.019	↓2	-0.085	0	-0.313	0		

【考察】

重要度の平均値は、平成 26 年度調査時と比較し上昇しているが、満足度の平均値は低下しており、成果が見られない。ニーズ値の平均値も高い状況であり、引き続き改善に取り組む必要がある。

(5) 重点プロジェクト「人口減少対策プロジェクト」について

平成 26 年度調査時に引き続き、重点プロジェクト「人口減少対策プロジェクト」に関する回答について検証を行った。

	重要度		満足度		ニーズ値		相対評価	評価エリア
	平均値	相対順位	平均値	相対順位	平均値	相対順位		
H28	4.515	5	2.683	27	1.832	3	Ⅱ	A
H26	4.512	3	2.720	27	1.793	2	Ⅱ	A
差	0.030	↓2	-0.037	0	0.039	↓1		

ニーズ値の平均値は、平成 26 年度調査時と比較し上昇しているが、満足度の平均値は低下しており、成果は見られない。また、自由意見の中でも人口減少対策に関するものが多く見られ、市民の関心及びニーズの高さが伺える。

このことから、人口減少対策は、本市の最重要課題と位置づけであると認識し、最優先で取組みを進めていく必要がある。

(6) まとめ～平成28年度市民満足度調査から見える優先し重点化して取り組む政策～

これらの結果から、第 4 次垂水市総合計画後期基本構想「施策の大綱」に掲げた基本目標ごとに優先し取り組む政策をニーズ値の高い順に 2 政策ずつ掲げ、また、全体として特に重点化し取り組むべき政策を掲げる。

なお、ここに掲げた政策は、第 5 次垂水市総合計画に反映されるべきものであると考えられることから、継続して取り組む必要がある。

基本構想「施策の大綱」名	基本計画の政策名	重点化
基本目標 1 住民による住民のためのまちをつくる	4. 子育て支援体制の充実	◎
	5. 学校教育の充実	
基本目標 2 安心して暮らせるまちをつくる	9. 高齢者保健福祉の推進	
	11. 医療体制の充実	◎
基本目標 3 環境と経済が共存し、循環していくまちをつくる	21. 働く環境の充実	◎
	22. 魅力ある観光の振興	
基本目標 4 市民を大切にすまちをつくる	25. 市民の期待に応える職員の育成	◎
	27. 財政運営の健全化	
重点プロジェクト 人口減少対策プロジェクト		◎